

## 2026年度 1年 社会科 年間指導計画

### 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

### 地理分野の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

### 歴史分野の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

指導時期	単元名	教材名	配 当 時 数	教材目標	学習活動	学習指導 要領との 対応	評価基準	小学校と の関連	重点
4	第1部 第1章 世界の姿 (9時間)	私たちの住 む地域を ながめて	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星写真や地球儀から世界の姿を大まかに眺め、世界の姿を大観する。</li> <li>世界地図を活用して、六大陸、三大洋、6州の名称や大きさ、位置関係を捉える</li> </ul>	六大陸と三大洋 世界を分ける六つの州を理解する。	A(1)①	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界地図を活用して、六大陸、三大洋、6州の名称や大きさ、位置関係を捉えている。</li> </ul>	小5 イ(ア) 世界の大陸と 主な海洋、世 界の主な国々	
		世界の色々 な国の特徴	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図帳の世界地図から、現代世界は多様な国々や地域から構成されていることを大まかに理解している。</li> </ul>	多くの国々がある世界国名の由来、国旗に表れた国の特色 国境の決まり方、海洋国と内陸国、面積の大きい国と小さ	A(1)①	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな国の国旗から、世界の国々の成り立ちに興味を持っている。</li> <li>地図帳から直線的な国境線とその他の国境線が引かれた理由の違いを考察している。</li> </ul>		

					い国、人口の多い国と少ない国を理解する。				
		緯度と経度	2	・地球の模式図から緯度と経度について理解するとともに、緯度と経度を用いて、地球上の位置を表す力を身に付ける。	緯度と経度を使って地球上の位置を示す。	A(1)①	・地球の模式図から緯度と経度について理解するとともに、緯度と経度を用いて、地球上の位置を表す力を身に付けている。		
		地球儀と世界地図の違い	1	・地球儀を用いて、距離や方位などを調べながら、地球儀の扱いを身に付ける	・さまざまな世界地図から、それぞれの地図の正しく表現できる部分とできない部分、地球儀との違いについて理解する。	A(1)①	・さまざまな世界地図（地球儀を含む）を比較しながら、それぞれの長所や短所についてまとめている。		
		まとめ	1	・世界はどのような姿をしているのかを、陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察している。	・レポートを作成し、単元のまとめを行う。 「海外の友人に日本の位置を詳しく説明しよう！」	A(1)①	・世界の地域構成の特色を、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。		
		単元テスト	1						
	第2章 日本の姿 (9時間)	世界のなかでの日本の位置	1	・地球儀や正距方位図法から、世界の他の地域からみて日本がどのような位置にあると言えるのかを考察する。	・日本地図を大観し、日本にはどのような特徴があるかを考察する。	A(1)①	・日本の位置を緯度や経度、他地域との関係など多角的な視点から考察し、表現している。	小5 イ(ア) 世界の大陸と 主な海洋、世 界の主な国々	
		日本と世界各地の時差	2	・標準時と時差の仕組みを理解し、地図や計算に基づいて他国と日本の時差を調べる力を身に付ける。	・時差の仕組みを理解する。 ・時差を求める計算問題を演習する。	A(1)①	・標準時と時差の仕組みを理解し、地図や計算に基づいて、他国と日本の時差について理解している。		
5月		日本の領域とその特徴	2	・地図から、日本が他国に対して、比較的広い領海や排他的経済水域を示した地図から日本の領土や領域を捉える。	・日本の領域と排他的経済水域を示した地図から日本の領土や領域を捉える。	A(1)①	・他国と比較してなぜ日本が国土面積の割に広い領海や排他的経済水域を持つかを、地図に基づいて説明している。		

			<p>済水域を有している理由を考察する。</p> <p>・日本の領土問題について他国との関係から理解する。</p>			<p>・日本の領土問題について他国との関係から理解している。</p>		
	都道府県と県庁所在地	2	<p>・日本の諸地域学習を進める上での7地方区分とその名称を捉える。</p>	<p>・都道府県や都道府県庁所在地の名称と位置を地図上で捉え、その他の資料を通して、都道府県の境界や現在に残る昔の地名・旧国名について理解する。</p>	A(1)①	<p>7地方区分について地図から読み取り、その名称や範囲を理解している。</p>		
	まとめ	1	<p>・日本はどのような姿をしているのかを、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに注目して多面的・多角的に考察する。</p>	<p>・レポートを作成する。「諸外国と比べて、日本にはどのような特徴があるのだろうか？」</p>	A(1)①	<p>・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p>		
	単元テスト	1						
	世界の様々な生活と環境	1	<p>・多様な自然環境のもとで暮らす人々の生活を理解するために、「世界各地の人々の暮らしは、場所によってどのような特徴があるでしょうか」という探究課題を立て、見通しをもって主体的に追究する。</p>	<p>・寒帯から熱帯までの地域の資料を見ながら、世界の生活の違いをまとめる。</p>	B(1)	<p>・写真資料から、自然環境が異なる地域の人々の生活を比較、追究し、設定した探究課題の答えを予想し、見通しをもって主体的に追究していこうとしている。</p>	小6イ(ア)	外国の人々の生活の様子
	暑い地域の暮らし	1	<p>・熱帯地域の自然環境と、そこで暮らす人々の生活の特色を見出し、その背景を考察する。</p>	<p>・雨温図から熱帯地域の特徴を考察する。</p>	B(1)	<p>・農産物や食生活、伝統的な文化などに関連付けて、熱帯の気候で暮らす人々の生活の様子を考察し、論述している。</p>		

		乾燥した地域の暮らし	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾燥帯地域の自然環境と、そこで暮らす人々の生活の工夫を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨温図から乾燥帯の特徴を考察する。</li> </ul>	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>サヘルに住む人々の生活の様子を理解し、それらの特色を自然環境と関連付けて説明できる知識を身に付けている</li> </ul>		
		温暖な地域の暮らし	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と同じ温帯地域でありながら、日本とは異なる自然環境や生活の特色が見られることを理解し、その背景を考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨温図から温帯の特徴を考察する。</li> <li>地中海性気候に着目し、気候の特徴を考察する。</li> </ul>	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>温帯の気候で生活している人々の暮らしについて自分たちの生活と比較しながらその特色を考察し、その結果を適切にまとめ、表現している。</li> </ul>		
		寒い地域の暮らし	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒帯地域の伝統的な生活を理解し、現在の暮らしがどのように変化してきたのか考察する。</li> <li>寒帯地域との違いに着目し、亜寒帯（冷帯）地域の自然環境とそこで暮らす人々の生活の関係について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨温図から冷帯と寒帯の特徴を考察する。</li> <li>寒い地域に住んでいる人々の生活の知恵を諸資料から考察する。</li> </ul>	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>シベリアに住む人々の生活の特色について自然環境と関連付けて考察している。</li> </ul>		
		高地の暮らし	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>高地で暮らす人々の衣食住に着目し、他の地域の生活との比較から特色を見出し、理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山気候の特徴を雨温図と地図を参考に考察する。</li> </ul>	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高地における人々の生活について、既得知識と関連付けて特色を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>		
		人々の生活と宗教の関わり	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界的に広がる宗教の分布を、主題図から読み取るとともに、それらの広がりを大まかに把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題図から宗教分布を読み取り、どのような特徴があるかまとめる。</li> </ul>	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界的に広がる主な宗教の分布の様子を、主題図から読み取り、特色をまとめている。</li> </ul>		
		まとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々は、様々な環境で生活していることを雨温図を通してまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「雨温図マスターになる！」</li> <li>雨温図が正しく読み取れるかのまとめをおこなう。</li> </ul>	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨温図の読み取りから、気候帯が理解できている。</li> </ul>		
		単元テスト	1						

歴史分野八

指導時期	単元名	教材名	配 当 時 数	教材目標	学習活動	学習指導 要領との 対応	評価基準	小学校と の関連	重点
7	歴史をとらえる 見方・表し方 (4時間)	時代や年 代の表し 方 歴史の流 れのとら え方 時代の特 色のとら え方	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>年代の表し方や時代区分の意味や意義を理解する。</li> <li>資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表にまとめる技能を身につける。</li> <li>歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方を解決する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の内容を思い出す。</li> <li>歴史の見方考え方を諸資料から考える。</li> </ul>	B(1) ア(ア)、イ(イ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年代の表し方や時代区分について内容を理解している。</li> <li>歴史表現方法や歴史的な見方・考え方について、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	6年 (2) 我が国の歴史上の主な事象	
	1節 世界の古代文明と宗教の 起こり (8時間)	人類の出 現と進化	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>人類の成長を置かれた環境と関連付けて考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人類の進化の過程をまとめる。</li> <li>旧石器時代と新石器時代の違いを考察する。</li> </ul>	B(1) ア(ア)、イ(イ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人類の進化の過程について、その概略を捉えている。</li> <li>旧石器時代と新石器時代の違いを考察し、表現している</li> </ul>		
		古代文明 のおこり と発展	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所に注目して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸資料から古代文明の特徴をまとめる。</li> </ul>	B(1) ア(ア)、イ(イ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所などの共通点に着目して考察し、表現している。</li> </ul>		
		中国文明 の発展	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の古代文明それぞれの王朝の特徴を、様々な資料を通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秦が中国を統一するまでの過程をまとめる。</li> </ul>	B(1) ア(ア)、イ(イ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の古代文明それぞれの王朝の特徴を理解している</li> </ul>		

		ギリシャ・ローマの文明	1	ギリシャ・ローマ文明の特徴について、現在の政治制度やヨーロッパ文化との関係に着目して考察し、表現する。	・ギリシャ・ローマの文化と政治や社会の仕組みの特色を諸資料から理解する。	B(1) ア(ア)、イ(イ)	・ギリシャ・ローマ文明の特徴について、現代の政治制度やヨーロッパ文化との共通点に着目して考察し、表現している。		
		宗教のおこりと三大宗教	1	・三大宗教がおこった地域の特徴について位置や場所に注目して考察し、表現する。	・地理の内容を思い出し、三大宗教の始まりについてまとめる。	B(1) ア(ア)、イ(イ)	・三大宗教が成立した地域が、西アジアやインドなど、古代文明が発展した地域と重なっていることを考察し、表現している。		
		まとめ	2	・古代文明や宗教など、人類が誕生してから生み出してきたものを、環境の変化や人類の成長などと関連付けて考察し、表現している。	・レポートを作成しよう！ 「現在の社会と古代文明を比較してみよう！」	B(1) ア(ア)、イ(イ)	・古代文明や宗教など、人類が誕生してから生み出してきたものを、環境の変化や人類の成長などと関連付けて考察し、表現している。		
		単元テスト	1						
8	2節 日本列島の誕生と大陸との交流 (3時間)	旧石器時代と縄文時代の暮らし	1	・日本列島における旧石器時代の人々の生活の様子を理解する。	・絵から、当時の人々の生活の様子をまとめる。	B(1) ア(イ)、イ(ア)	・様々な資料から、日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特徴について理解している		
		弥生時代の暮らしと邪馬台国	1	・弥生時代に日本の国家が形成されていく過程について、東アジアとの関わりに着目して考察し、表現する。	・中国の文献から、当時の日本の様子を考察する。	B(1) ア(イ)、イ(ア)	・中国の文献などから、国家が形成されていく過程について大陸の影響に着目して考察し、表現している。		
		大王の時代	1	・大和地方を中心とした大和政権の勢力が拡大していったことを理解する。	・地図から大和政権の勢力を読み取る。	B(1) ア(イ)、イ(ア)	・大和政権の勢力が拡大されていく過程を、古墳の分布や鉄剣などの資料を通して理解している。		
9	3節 古代国家の歩みと東アジア世界	聖徳太子の政治改革	1	・聖徳太子や蘇我氏が目指した国づくりや、この時代の文化の特色を理解する。	・諸資料から聖徳太子が目指した国作りを考察する。	B(1) ア (ウ) (イ)、イ(ア)	・聖徳太子や蘇我氏が行った国づくりの特色を理解している。		

(11時間)	東アジアの緊張と律令国家への歩み	1	・7世紀の国内の情勢を、東アジアの動きに着目して考察し、表現する。	・律令国家への動きを、各天皇と結びつけてまとめる。	B(1)ア (ウ)I、I(ア)	・律令国家を目指す国内の情勢を、中国や朝鮮半島の動きと関連付けて考察し、表現している。
	律令国家の成立と平城京	1	・律令制度の内容を基に、古代国家の仕組みを理解する。	・律令国家の仕組みを諸資料からまとめる。	B(1)ア (ウ)I、I(ア)	・律令制度による古代国家の仕組みを理解している。
	奈良時代の人々の暮らし	1	・奈良時代の人々の生活について、税や土地制度に着目して考察し、表現する。	・奈良時代の生活を貧窮問答歌から読み取る。	B(1)ア (ウ)I、I(ア)	・奈良時代の人々の生活について、税や土地制度の変化と関連付けて考察し、表現している。
	天平文化	1	・代表的な文化財を通して、天平文化の特色を理解する。	・諸資料から文化財の特色をまとめる。	B(1)ア (ウ)I、I(ア)	・天平文化が国際色豊かな文化であることを理解している。
	平安京と律令国家の変化	1	・平安時代初めの政治について、奈良時代までの政治と比較して考察し、表現する。	・平城京と平安京を比較することを通して、政治の違いを考える。	B(1)ア (ウ)I、I(ア)	・平安時代初めの政治について、支配領域の拡大や仏教の広まりなどと関連付けて考察し、表現している。
	摂関政治の時代	1	・摂関政治や地方政治の変化から、平安時代の政治の特色を理解する。	・摂関政治の特徴を本文と資料からまとめる。	B(1)ア (ウ)I、I(ア)	・10世紀に、摂関政治や土地制度など政治の在り方が変化したことを理解している
	国風文化	1	・国風文化の形成について、大陸との関係に着目して考察し、表現する。	・国風文化が繁栄した理由を国際情勢と関連付けてまとめる。	B(1)ア (ウ)I、I(ア)	・国風文化の形成について、大陸の文化の影響に着目して考察し、表現している。
	まとめ	1	・古代の日本の変化に着目して考察・表現し、古代の日本でどのように国家が形成されていったのかを理解する。	・レポートを作成しよう！ 「古代日本の特徴を東アジアの国々や政治の特徴からまとめよう！」	B(1)ア (ウ)I、I(ア)	・古代の日本でどのように国家が形成されたかを、東アジアとの関わりと関連付けて考察し、表現している。 ・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	単元テスト	1				

25時間  
地理分野へ

指導時期	単元名	教材名	配 当 時 数	教材目標	学習活動	学習指導 要領との 対応	評価基準	小学校と の関連	重点
10	第2部 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州 (9時間)	アジア州の 自然環境	1	・アジア州の自然、雨温図や分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・アジア州の気候と地形の特徴を地図から読み取る。	B(2)①	・変化に富む自然環境や、気候からアジア州を概観し、理解している。	小5 イ(ア) 世界の大陸と 主な海洋、世 界の主な国々  小6 イ(ア) 外国の人々の 生活の様子	
		アジア州の 農業と文 化、経済発 展	1	・アジア州の農業や文化の特徴を諸資料から考察する。	・風と気温の違いから、農業や文化の違いを比較する。	B(2)①	・アジア州の農業や文化の特徴を、諸資料から考察している。		
		経済成長を 急速に遂げ た中国	1	・中国の経済成長について、その成果と課題の両面について理解する。	・中国の経済発展の理由と課題をそれぞれ資料からまとめる。	B(2)①	・中国の経済成長と経済格差の広がりについて理解している。		
		最も近い隣 国、韓国	1	・写真やグラフなどから、韓国の産業や文化の特色を捉え、経済成長の背景を考察する。	・アジアニーズの国々のグラフから、韓国の産業の特徴を読み取る。	B(2)①	・韓国で急速に経済成長した理由を、輸出品の変化から捉えた産業構造の変化などの観点から考察している。		
		経済発展を 目指す東南 アジア	1	・東南アジア諸国の輸出品の変化などから産業の変化を捉え、工業化が進んでいる様子について理解する。	・東南アジアの国々とASEANとの関わりを諸資料から考察する。	B(2)①	・東南アジアでは輸出品が原材料から機械類などの工業製品に変化していることを読み取っている。		
		産業発展と 人口増加が	1	・資料を使って、インドが急速に発展した理由を考察する。	・インドにおける情報関連産業が急成長している理由を諸資料からまとめる。	B(2)①	・インドの経済発展の理由について他地域との結び付きに着目して考察している		

		急速に進む 南アジア							
		資源が豊富な中央アジア・西アジア	1	・写真や地図、グラフなどから、西アジアや中央アジアの国々の文化や産業の特色を読み取る。	・他のアジア地域と中東の産業の違いを工業グラフを用いて比較する。	B(2)①	・地図やグラフなどの資料から、西アジアや中央アジアの国々が鉱産資源に頼っていることを読み取っている。		
		まとめ	1	・アジア州において、地域で見られる経済成長にともなう課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、多面的・多角的に考察する。	・レポートを作成しよう。「アジア州の経済発展と課題についてまとめよう！」 ※地域を1つ選択し、作成する。	B(2)①	・アジア州において急速に経済が成長してきた理由や課題について多面的・多角的に考察し、具体的に表現している。		
		小テスト	1						
11	第2節 ヨーロッパ州 (5時間)	ヨーロッパ州の自然環境と文化	1	・ヨーロッパ州の自然、人口と民族、産業の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から概観し、ヨーロッパ統合の背景を含む基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・ヨーロッパの地形や雨温図、諸資料から地域の特徴をまとめる。	B(2)②	・ヨーロッパ州には、民族を基にした小国が多いこと、地域により異なる農業が盛んなこと、共通の文化が見られることなどを概観し、ヨーロッパ統合の背景を理解している		
		EUの成り立ちと人々の生活の変化	1	・ヨーロッパ州の国々が国境をこえた統合を進めてきた理由や利点について、EU、アメリカ合衆国、日本を比較した統計資料などを基に考察する。	・EU加盟の利点を諸資料から考察する。	B(2)②	・ヨーロッパ州の国々が国境をこえて統合することの利点について、産業、人々の生活、交通の三つの視点から説明している。		
		EU統合による課題への取組	1	・ヨーロッパにおける産業の仕組みの変化と、それにとまなう移民・難民への対応など、EU	・諸資料からEU内での課題について考察し、まとめる。	B(2)②	・ヨーロッパが統合することの問題点や課題を、EU加盟国間の対立やEUと他地域との関係に着目して説明している。		

				がかかえる課題について考察する。					
第3節 アフリカ州 (5時間)	まとめ	1	ヨーロッパ州において、地域の統合にともなう課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、統合をめぐるさまざまな動きが見られる理由とともに、今後の動きについて多面的・多角的に考察する。	レポートを作成しよう！ 「あなたがイギリスの立場ならEUから離脱をする？しない？」	B(2)②	・ヨーロッパ州において、地域統合が進んできた背景や良い影響、課題を踏まえて、今後どのようにしていくべきかについて多面的・多角的に考察し、表現している			
	単元テスト	1							
	アフリカ州の自然環境	1	・アフリカ州の自然、歴史と文化、産業の特色について、気温図、分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・アフリカの地形や気温図、国境線の特徴などから、アフリカ州を大観する。	B(2)③	・広大な砂漠を持つ自然、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を概観し、理解している。			
	植民地支配の影響が残る産業	1	・アフリカ州のプランテーション農業やモノカルチャー経済の実態について、写真や地図、グラフから読み取る。	・アフリカの輸出品のグラフから産業の特徴を考察する。	B(2)③	・アフリカ州の農業と工業の特色や問題点を、さまざまな資料の関連付けから読み取っている。			
	アフリカ州が抱える課題とその取組	1	・アフリカ州の課題について、都市化、人口増加、環境問題などの視点から理解する。	・諸資料からアフリカの課題をまとめる。	B(2)③	・現在のアフリカ州が持つ課題について、三つの視点（都市化、人口増加、環境問題）を踏まえて理解している。			
まとめ	1	・アフリカ州において、国際支援が必要とされている背景を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目し、今後	・グループで解決しよう！ 「あなたなら、アフリカの課題を解決するためにどのような取組をしますか？」	B(2)③	・アフリカ州において、国際支援が必要とされている背景を踏まえて、今後の、具体的な支援策を多面的・多角的に考察し、表現している。				

				の具体的な支援策について多面的・多角的に考察する。					
		単元テスト	1						
12	第4節 北アメリカ州 (6時間)	北アメリカ州の自然環境と多様な文化	1	・北アメリカ州の自然、文化、の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・北アメリカ州の自然や気候の特徴を地図から読み取り、州を大観する。	B(2)④	・大陸と島々からなる多様な自然、移民によって持ちこみ育まれた文化、世界に影響を与える巨大な経済力などの特色を概観し、理解している。		
		大規模な農業と多様な農産物	1	・アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方式、農場経営の仕方などの視点から考察する。	・アメリカと日本の農業の違いを諸資料から比較する。	B(2)④	・アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方式、農場経営の仕方などの特色から説明している。		
		世界をリードする先端技術	1	・アメリカ合衆国で発展してきた重工業や先端技術産業の特色を、写真、グラフ、分布図などから読み取る。	・アメリカの工業地域の推移を諸資料からまとめている。	B(2)④	・アメリカ合衆国の五大湖沿岸、サンベルトの工業地域について、主な工業の種類とそれが発展した理由を比べて、図表などにまとめている。		
		アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題	1	世界各地に見られるショッピングセンターやファストフード店などから、アメリカ文化が世界に大きな影響を与えていることを理解する。	・アメリカ合衆国の生活と世界の生活を比較して、特徴をまとめる。	B(2)④	・アメリカ合衆国の生活文化が、世界の国々に大きな影響を与えていることを理解している。		
		まとめ	1	・北アメリカ州において、アメリカ合衆国への移民が多く見られる背景を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、多面的・多角的に考察する。	・レポートを作成しよう！ 「北アメリカは世界にどのような影響を与えているのだろうか？」	B(2)④	・アメリカ合衆国の発展が今後続いていくのかどうかを多面的・多角的に考察し、その結果や過程を生かして、アメリカ合衆国へ移民が多く見られる背景を、具体的に表現している。		
		単元テスト	1						

	第5節 南アメリカ州 (5時間)	南アメリカ州の自然環境	1	・南アメリカ州の自然、文化、産業の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・南アメリカ州の自然や気候の特徴を地図から読み取り、州を大観する。	B(2)⑤	・南北に細長い大陸の自然環境、混血の進行と新しい文化の形成、急速な経済の発展などの特色を概観し、理解している。		
		大規模化する農業と成長する工業	1	・南アメリカ州での、プランテーション農業やモノカルチャー経済の実態について、写真や地図、グラフから読み取る。	・南アメリカ州の産業の特徴をアフリカと関連させてまとめる。	B(2)⑤	・南アメリカ州での、プランテーション農業やモノカルチャー経済の実態について、写真や地図、グラフから読み取っている。		
		ブラジルにみる開発と環境保全	1	・アマゾン地域の写真や分布図などから、大規模な開発の影響と課題について読み取る。	・熱帯雨林の減少を諸資料から考察する。	B(2)⑤	・アマゾン川流域で森林が減少している理由を、写真や主題図、グラフなどの資料から、大規模な開発と関連付けて読み取っている。		
		まとめ	1	・南アメリカ州において、森林が減少している背景を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目し、持続可能な南アメリカ州の開発へむけて多面的・多角的に考察する。	レポートを作成しよう！ 「南アメリカは環境保全と工業開発のどちらを優先させるべきだろうか？」	B(2)⑤	・南アメリカ州において森林が減少している背景を踏まえて、持続可能な南アメリカ州の開発へ向けて多面的・多角的に考察し、表現している。		
		単元テスト	1						
1	第6節 オセアニア州 (4時間)	オセアニア州の自然環境	1	・オセアニア州の自然、文化の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・オセアニア州の自然や気候の特徴を地図から読み取り、州を大観する。	B(2)⑥	・乾燥大陸と島々から成る自然、先住民の文化、貿易相手国の変化、などの特色を概観し、理解している。		
		移民の歴史と多文化社会への歩み	1	・オーストラリアにおける、移民や先住民に対する政策の転換、移民の出身州の移り変わり	・白豪主義政策から、現在の多文化社会への歩みをまとめる。	B(2)⑥	・オーストラリアを事例に、人種や民族、文化の異なる人々が共存して社会を築いていくためには何が必要かを、議論したり、意見交換したりしている。		

				に関して、多文化社会の形成と いう観点から考察する。					
	他地域とむ すびついて 発展する産 業	1	・オーストラリアやニュージ ーランドの農牧業や鉱業の特色 を、写真、グラフ、分布図など から読み取る。	・オーストラリアの産業の特 徴を資料から読み取る。	B(2)⑥	・オーストラリアやニュージ ーランドの農牧 業や鉱業の特色を、さまざまな資料を関連付 けながら読み取っている。			
	単元テスト	1							

34時間

歴史分野へ

指導時期	単元名	教材名	配 当 時 数	教材目標	学習活動	学習指導 要領との 対応	評価基準	小学校と の関連	重点
2	第1節 武士の政権の 成立 (7時間)	武士の成長	1	・武士の成長を、都の政治状況や地方の混乱と関連付けて考察し、表現する。	・絵巻物から武士の役割を読み取る。	B(2) 7(7)、1(7)	・武士が次第に成長していったことを、地方で起きた戦乱と関連付けて考察し、表現している。	6年 (2) 我が国の歴史上の主な事象	
		院政から武士の政権へ	1	・武士がどのように政治の実権を握ったかを、院政や兵乱と関連付けて考察し、表現する。	・武士が政治の中心になった過程を戦いの結果から読み取りまとめる。	B(2) 7(7)、1(7)	・武士が政治の実権を握る過程を、院政の展開や保元・平治の乱における武士の動向と関連付けて考察し、表現している。		
		鎌倉幕府の成立と執権政治	2	・鎌倉幕府はどのような特色を持つ組織だったかを理解する。 ・鎌倉幕府の特色について、主従制度や承久の乱に着目して考察し、表現する。	・鎌倉幕府の特徴を図から読み取りまとめる。 ・承久の乱の資料から当時の御家人の動きを読み取る。	B(2) 7(7)、1(7)	・鎌倉幕府が御家人との関係で成立した組織であったことを理解している。 ・鎌倉幕府の特色について、将軍と御家人の関係や幕府と朝廷の関係に関連付けて考察し、表現している		
		武士と民衆の生活	1	・鎌倉時代の武士や民衆の生活の様子を理解する。	・絵巻物から武士の生活を読み取る。	B(2) 7(7)、1(7)	・鎌倉時代の地頭の役割や農業や商業の発達の様子を理解している。		
		鎌倉時代の文化と宗教	1	・鎌倉時代の文化や宗教にどのような特色があったかを理解する。	・鎌倉文化の文化財を写真と共にまとめる。	B(2) 7(7)、1(7)	・鎌倉時代の文化や宗教と特色を理解している。		
		単元テスト	1						
3	2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開 (11時間)	中世のユーラシア大陸	1	・中世のユーラシア大陸で起きた東西のつながりを、イスラーム世界の拡大とその影響と関連付けて考察し、表現する。	・中世ユーラシアの動向を、諸資料からまとめる。	B(2) 7(7)(1)(ウ)、1(7)	・中世ユーラシアで東西のつながりが生まれた理由を、イスラーム世界の拡大や十字軍の活動と関連付けて考察し、表現している。		

		モンゴル帝国とユーラシア世界	1	・モンゴルの襲来が日本にどのような影響を与えたかを理解する。	・元寇の様子を絵巻物から読み取りまとめる。	B(2) 7 (7)(1)(ウ)、1 (7)	・モンゴルの襲来が日本に北条氏への権力集中や幕府支配の動揺という影響を与えたことを理解している。		
		南北朝の動乱と室町幕府	1	・室町幕府の特徴を鎌倉幕府の仕組みと比較して考察し、表現する。	・室町幕府と鎌倉幕府の仕組みを図から読み取り比較する。	B(2) 7 (7)(1)(ウ)、1 (7)	・室町幕府の特徴を鎌倉幕府と比較しながら考察し、表現している。		
		東アジアとの交流	1	・日本と東アジアとの関係を、貿易や交易に着目して考察し、表現する。	・明との貿易の様子をまとめる。	B(2) 7 (7)(1)(ウ)、1 (7)	・日本が東アジア世界でどのような外交関係を築いたかを、貿易や交易に着目して考察し、表現している。		
		産業の発達と民衆の生活	1	・畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や産業の発達に着目して考察し、表現する。	・鎌倉時代の産業の様子と比較して、室町時代の農業や産業の特徴をまとめる。	B(2) 7 (7)(1)(ウ)、1 (7)	・畿内を中心に自治的な組織が生まれたことについて、農業や商業・手工業の発達や土一揆と関連付けて考察し、表現している。		
		応仁の乱と戦国大名	2	・応仁の乱による社会の変化について、戦国大名の支配に着目して考察し、表現する。	・応仁の乱が社会に与えた影響を諸資料から考察する。	B(2) 7 (7)(1)(ウ)、1 (7)	・応仁の乱による社会の変化について、分国法や城下町などを、これまでの支配の在り方との違いに関連付けて考察し、表現している。		
		室町文化とその広がり	1	・代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。	・室町文化の文化財を写真と共にまとめる。	B(2) 7 (7)(1)(ウ)、1 (7)	・武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色を捉えている。		
		まとめ	2	・政治の動きや東アジアの情勢、産業や民衆の動きなどに関連付けて考察し・表現し、中世の日本の社会はどのように変化したのかを理解する。	・レポートを作成しよう！ 「武士は政治にどのような影響を与え、武士の政治にはどのような特徴があるのだろうか？」	B(2) 7 (7)(1)(ウ)、1 (7)	・中世の日本ではどのように社会が変化したかについて、東アジアの動向や民衆の成長や活動と関連付けて考察し、表現している。		
		単元テスト	1						

18時間

※年3回の学力テストの時間を設ける。

※総時数 地理分野62時間 歴史分野43で計上する。

## 2026年度 2年 社会科 年間指導計画

### 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

### 地理分野の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

### 歴史分野の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

指導時期	単元名	教材名	配 当 時 数	教材目標	学習活動	学習指導 要領との 対応	評価基準	小学校と の関連	重点
4	オリエンテーション 導入 (1時間)	近世の人々の様子をとらえよう	1	・近世を学習するにあたり、近世の内容を、年表を参考に大観する。	・年表を参考に、近世の特徴を考察している。	B(3) 7(7)、1(7)	・近世の学習の見通しを持つようとしている。	6年 (2) 我が国の歴史上の主な事象	
	1節 ヨーロッパ人との出会いと	ヨーロッパ世界の变化	1	・ルネサンスと宗教改革を通して、ヨーロッパ世界の变化の様子を理解する。	・十字軍の結成と宗教改革の過程を原因と結果からまとめる。	B(3) 7(7)、1(7)	・ルネサンスと宗教改革によりヨーロッパ世界が变化したことを理解している。		
	全国統一 (9時間)	ヨーロッパ世界の拡大	1	・アメリカ大陸とアフリカ大陸の様子から、ヨーロッパの世界進出の影響を理解する。	・大航海時代の主要3人の航海路を地図にまとめる。	B(3) 7(7)、1(7)	・ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸に及ぼした影響を理解している。		

		ヨーロッパ人との出会い	1	ヨーロッパ人により、鉄砲とキリスト教が日本の社会に広まり、社会が変化したことを理解する。	・鉄砲の伝来とキリストの伝来が日本に与えた影響を資料からまとめる。	B(3) 7(7)、1(7)	・ヨーロッパとの出会いによる日本社会の変化を、鉄砲やキリスト教と関連付けて考察し、表現している。		
		織田信長・豊臣秀吉による統一事業	2	信長や秀吉がどのように戦乱を終わらせたのかを、信長の政策や統一事業の進展と関連付けて考察し、表現する。	・信長と秀吉の政策と戦いの過程をまとめる。	B(3) 7(7)、1(7)	・織田信長や豊臣秀吉がどのように戦乱を終わらせたのかを、信長の経済政策や軍事行動と関連付けて考察し、表現している。		
		兵農分離と秀吉の対外政策	1	・太閤検地と刀狩、朝鮮侵略によって、社会がどのように変化したかを考察し、表現する。	・諸資料から検地と刀狩の目的を考察する。	B(3) 7(7)、1(7)	・兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、表現している。		
		桃山文化	1	・桃山文化の特色を建築・絵画・芸能などから理解し、その特色が生まれた理由を考察し、表現する。	・桃山時代の文化財を写真とともにまとめる。	B(3) 7(7)、1(7)	・桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、表現している。		
		まとめ	1	・ヨーロッパ人との出会いとその影響、諸資料と関連付けて考察、表現する。	レポートを作成しよう！ 「南蛮人との出会いで日本社会にはどんな変化があったのだろうか？」	B(3) 7(7)、1(7)	・ヨーロッパ人との出会いとその影響を諸資料と関連付けて考察し、表現している		
		単元テスト	1						
5	2 節 江戸幕府の成立と対外政策の変化	江戸幕府の成立と支配の仕組み	1	・幕府の大名らを支配する方法の特徴を外様大名の配置や武家諸法度などに着目して考察し、表現する。	・大名配置図から江戸時代の大名配置の特徴を読み取る。	B(3) 7(1)、1(7)	・幕府の支配方法の特徴を、大名配置や武家諸法度、朝廷・寺社との関係などに着目して考察し、表現している。	6年 (2) 我が国の歴史上の主な事象	
		貿易の振興から「鎖国」へ	1	・江戸幕府の対外政策の変化について年表などを活用し、貿易やキリスト教との関係や島原・	・鎖国体制への過程を年表にまとめる。	B(3) 7(1)、1(7)	・江戸幕府が17世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を、貿易やキリスト教との関係や島原・天草一揆などを関連付けて考察し、表現している。		

			天草一揆などを関連付けて考察し、表現する。					
	江戸時代の 対外関係	1	・幕府による統制の中でも、各地で世界と様々な形の交流があったことを理解する。	・4つの窓の意味を理解し、それぞれの交流の様子をまとめる。	B(3) ｱ(ｲ)、ｲ(ｱ)	・江戸時代の日本が様々な制限をかけながら世界の国々と交流があったことを理解している。		
	琉球王国や アイヌ民族 との関係	1	・江戸幕府が琉球王国やアイヌ民族とどのような関係をもったかを理解する。	・アイヌと幕府の関係を、諸資料から読み取り、まとめる。	B(3) ｱ(ｲ)、ｲ(ｱ)	・幕府が琉球王国・アイヌ民族に対し、支配的な関係にあったことを理解している。		
	さまざまな 身分と暮らし	1	・江戸幕府の庶民支配の方法を、身分制や役割に着目して考察し、表現する。	・3つの身分に分けて、それぞれの特徴をまとめる。	B(3) ｱ(ｲ)、ｲ(ｱ)	・江戸幕府の庶民支配の方法を、身分による区分や身分による役割を明確にしたことに着目して考察し、表現している。		
3節 産業の 発達と幕府政 治の推移 (9時間)	農業や諸産 業の発展	1	・江戸時代の産業の発達について、農地の拡大、特産物の開発、鉱業の発達などに着目して考察し、表現する。	・産業の発達を農機具の発展や、耕地面積の拡大の視点から考察する。	B(3) ｱ(ｲ)(I)、ｲ(ｱ)	・江戸時代の産業の発展の理由を、新田開発や漁業の発展など各産業における生産量の増加に着目して考察し、表現している。	6年 (2) 我が国の 歴史上の主 な事象	
	都市の繁栄 と交通路の 整備	1	・交通路が整備され、三都をはじめとする都市が発展したことを理解する。	・交通路の整備がどのような影響を与えたのかを資料から考察する。	B(3) ｱ(ｲ)(I)、ｲ(ｱ)	・産業や交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。		
	幕府政治の 安定と元禄 文化	1	・元禄時代の政治や文化の特色を、時代背景や文化の担い手に着目して考察し、表現する。	・生類憐れみの令の成果をを当時の資料から考え、自らの意見をまとめる。	B(3) ｱ(ｲ)(I)、ｲ(ｱ)	・元禄時代の政治や文化の特色を、儒学の広まりや、産業の発達、庶民の成長と関連付けて考察し、表現している。		
	享保の改革 と社会の変 化	1	・社会の変化の様子を、享保の改革の内容や百姓の行動と関連付けて考察し、表現する。	・享保の改革が社会にどのような変化をもたらしたのかを考察する。	B(3) ｱ(ｲ)(I)、ｲ(ｱ)	・社会の変化を、幕府の財政難対策や百姓一揆の増加などと関連付けて考察し、表現している。		
	田沼意次の 政治と寛政 の改革	1	・田沼意次と松平定信の政治の特色を、置かれた状況の違いと2人の政策を比較しながら考察し、表現する。	・田沼と松平の政策と狂歌を比較し、政策の違いを考察する。	B(3) ｱ(ｲ)(I)、ｲ(ｱ)	・田沼意次と松平定信の政治の特色を、2人の経済政策の違い、外国の接近などの状況の比較を通して考察し、表現している。		

		新しい学問 と化政文化	1	・18世紀～19世紀前半の学問 や文化の特色を理解する。	・元禄文化と化政文化の違い に触れ、化政文化の文化財を まとめる。	B(3) 7 (ウ) (I)、1(7)	・18世紀～19世紀前半の日本では蘭学によ る文化の成長や、江戸の町人を中心とした文 化が発展したことを理解している。		
6		外国船の出 現と天保の 改革	1	・幕府や諸藩の動向を、社会状 況の変化や国際状況などと関連 付けて考察し、表現する。	・諸資料から外国船への対応 がいかなるものだったのか考 察する。	B(3) 7 (ウ) (I)、1(7)	・幕府や諸藩の動向を、ききんや財政状況、 外国の接近や反乱を関連付けて考察し、表現 している。		
		まとめ	1	・社会の変化や外国の接近など を関連付けて考察・表現し、幕 府が改革を迫られた背景を理解 する。	レポートを作成しよう！ 「三大改革を現代で実施する ならどれが良いだろうか？」	B(3) 7 (ウ) (I)、1(7)	・幕府が改革を迫られた背景を、社会の変化 や外国の接近などと関連付けて考察し、表現 している。		
		単元テスト	1						

19時間  
地理分野へ

指導 時期	単元名	教材名	配 当 時 数	教材目標	学習活動	学習指導 要領との 対応	評価基準	小学校と の関連	重点
6	第3部 日本のさまざま な地域 第2章 日本の地域的 特色 (10時間)	山がちな日 本の地形	1	・日本は変動帯に属して、地震 や火山の多い不安定な大地上に 位置していること、フォッサマ グナを境にして、山脈の走る方 向が違うことなどを資料から読 み取る。	・世界地図と日本地図から、 変動帯にはどのような特徴が あるかを読み取る。	C(2)	・日本の自然環境に関する特色を主題図や分 布図から適切に読み取り、日本の山地・山脈 について理解している。	5年生 (1) 我が国の国土 の様子と国民 生活	
		川がつくる 地形と海岸	1	・日本には、河川などに運ばれ た土砂で形成された規模の小さ	・川の作用でどのような地形 が作られるのかをまとめる。	C(2)	・日本の自然環境に関する特色を主題図や分 布図から適切に読み取り、	(5)	

		や海洋の特徴		な平野が臨海部に、また山に囲まれた地域には盆地などが各地に分布していることを分布図などから読み取る。			川、平地、海岸の分布や特色、海洋に囲まれた国土の特色について理解している。	我が国の国土の自然環境と国民生活の関連	
7	第1章 地域調査のしかた (2時間)	地形図の使い方①	1	・地形図について、縮尺、方位、等高線、地図記号などに着目して、地域の土地利用や地形を大観する。	・地図記号と地形図の基本的な読み方を理解し、問題演習に取り組む。	C(1)	・尺、方位、等高線、地図記号など地形図の基本的な読み取り方を理解し、地理的技能を身に付けている。	3年生 (1)身近な地域や市の様子	
		地形図の使い方②	1	・新旧の地形図を比較して地域の変化を読み取る。	・地形図を活用して、土地にはどのような変化があるかをまとめる。	C(1)	・さまざまな資料から、身近な地域の特色や変化を捉えている。	4年生 (1)県の様子 (5)県内の特色ある地域の様子	
	第2章 日本の地域的特色	日本の気候	1	・日本の多くの地域は温帯に属し、降水量も多く、森林、樹木が成長しやすい環境にあることを雨温図や景観写真などから読み取る。	・日本の気候の特徴を雨温図と風から理解する。	C(2)	・日本の気候の特色を景観写真や雨温図、気候区分図から読み取り、日本の気候の特色を理解している。	5年生 (1)我が国の国土の様子と国民生活	
		日本のさまざまな自然災害	1	・日本は地震や火山の噴火、洪水といった自然現象が多く発生し、自然災害として社会に大きな影響をおよぼしていることを理解する。	・レポートを作成しよう！ 「稚内市ではどのような災害の危険があるだろうか？」	C(2)	・日本で発生する自然災害について、その原因となる自然現象や社会への影響について理解している。	(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活の関連	
		自然災害に対する備え	1	・日本は大規模な地震や津波、台風など多様な自然災害が発生しやすい地域が多く、早くから、防災設備の充実、ハザード	・ハザードマップを活用し、稚内を事例に読み取る。	C(2)	・諸資料から、日本の多様な自然災害と防災への取り組みなどに着目し、日本は自然災害が発生しやすい地域が多く、その分防災・減災対策に努めていることを理解している。	連	

			マップの作製など防災、減災対策に努めてきたことに気付く。					
	日本の人口	1	・人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化、人口分布に着目して、少子高齢化、過疎、過密といった日本の課題を読み取る。	・日本の人口の推移を人口ピラミッドから読み取る。	C(2)	・人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化などの資料から、少子高齢化の実態を、国内の人口分布を示す資料を通して過疎・過密問題の実態を読み取り、日本の人口に関する課題を理解している。		
	日本の資源・エネルギーと電力	1	・日本のエネルギー自給率や発電量の内訳を示す資料などから、日本の抱えている課題とその対策について多面的・多角的に理解する。	・レポートを作成しよう！ 「これからの日本の発電方法はどれが適切だろうか？」	C(2)	・日本の資源・エネルギー利用の現状や日本の発電方法に着目して、日本の課題について多面的・多角的に考察している。	小5 (2) 我が国の農業や水産業における食料生産	
	日本の産業	1	・日本の農業、工業が抱える課題について食料自給率や主な工業地帯、地域の分布図から読み取る。	・日本の産業にはどのような課題があるかを諸資料から読み取る。	C(2)	・日本の食料自給率が低下していること、産業の空洞化が起きていることなどを諸資料から読み取り、知識を得ている。	小5 (2) 我が国の農業や水産業における食料生産  (3) 我が国の工業生産	
	日本の交通網・通信網	1	・輸送手段の違いが見られる原因を、輸送距離、時間、地域性などに着目して考察する	・交通網による利用の違いを諸資料から考察する。	C(2)	・日本で輸送手段の違いが見られる原因を、輸送距離、時間、地域性などに着目して多面的・多角的に考察している。	5年生 (1) 我が国の国土	
	日本の地域区分	1	・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分の事例を学び、地域区分をする技能を身に付ける。	・地形や産業から日本をどのように区別するかを考察してまとめる。	C(2)	・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。	の様子と国民生活  (5)	



	単元テスト	1							
第1節 九州地方 (7時間)	九州地方の 自然環境	1	・九州地方について、地形図や 雨温図などの資料から概観し、 基礎的・基本的な知識を身に付 ける。	・九州地方の自然や気候の特 徴を地図から読み取り、州を 大観する。	C(3)①	・火山活動に由来する地形や温暖で多雨の気 候からなる自然、盛んな農業、北部の平野に 多い人口などの特色を理解している。	4年 ア(ア) 47都道府県 の名称と位置		
	火山と共に ある九州の 人々の生活	1	・九州地方に多い火山の噴火に よる被害とその対策に着目し、 人々が火山とともに生活してい ることを理解する。	・九州の火山への対策をそれ ぞれ資料から読み取り、まと める。	C(3)①	・桜島の火山噴火にともなう自然災害の実情 や災害報道、人々が行う火山灰対策を理解し ている。	5年生 (1) 我が国の国土		
	自然を生か した九州の 農業	1	・九州地方で盛んな農業やに関 する具体的な資料を通して、産 業が各地の自然条件に応じて発 達してきたことを理解する。	・九州の北部と南部で違いが あることを自然環境から考察 する。	C(3)①	・九州地方の農業は南北で大きく異なること を自然条件や課題と結び付けて捉えている。	の様子と国民 生活  (5)		
	都市や産業 の発展と自 然環境	1	・九州地方の各地で行われてい る持続可能な社会を実現するた めの取り組みについて、環境と 開発の両立の視点から考察す る。	・北九州市の事例から、エコ タウンの内容をまとめる。	C(3)①	・北九州市と水俣市の環境問題に関する共通 点と相違点を捉え、持続可能な社会を実現す るための取り組みについて考察している。	我が国の国土 の自然環境と 国民生活の関 連		
	・南西諸島 の自然と 人々の生活 を産業	1	・九州地方の観光業に関する具 体的な資料を通して、産業が各 地の自然条件に応じて発達して きたことを理解する。	・南西諸島の産業を、気候面 から考察する。	C(3)①	・沖縄県では美しい自然環境を生かした観光 業が盛んであることを、それぞれの自然条件 や課題と結び付けて捉えている。			
	まとめ	1	・九州地方に見られる特色ある 産業や生活・文化が成り立つ条 件を、自然環境や地域の結び付 き、人々の対応などと関連付け て理解し、多面的・多角的に考 察する。	レポートを作成しよう！ 「九州地方の自然環境は人々 の生活にどんな利点と課題を もたらすのだろうか？」	C(3)①	・九州地方で、自然環境の影響を受けつつ、 特色ある産業や生活・文化が発達してきた理 由を多面的・多角的に考察し、表現してい る。			

	単元テスト	1							
第2節 中国四国地方 (7時間)	中国・四国地方の自然環境	1	・中国・四国地方について、人口分布図や統計グラフなどの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・中国・四国地方の自然や気候の特徴を地図から読み取り、州を大観する。	C(3)④	・自然環境の異なる三つの地域、人々の生活や産業を変えた交通・通信網の整備、瀬戸内に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けている。	4年 ア(ア) 47都道府県の名称と位置		
	交通網の整備と人々の生活の変化	1	・中国・四国地方の交通網の発展による地域の影響について、利点と課題の両面から考察する。	・橋が生活に大きな変化をもたらしたことを諸資料から理解する。	C(3)④	・交通網の整備を、移動時間の短縮やストローク現象などと関連付けて考察している。	5年生 (1) 我が国の国土の様子と国民生活		
	瀬戸内海の内海と工業の発展	1	・瀬戸内で工業が発達してきた歴史的背景を土地利用の変化や海上輸送による他地域との結び付きに着目して理解する。	・瀬戸内工業地域の特徴をグラフから読み取る。	C(3)④	・原料や製品の輸送に着目して、海上輸送に適した瀬戸内で工業が発達してきた背景について理解している。	(5)		
	交通網を生かして発展する農業	1	・中国・四国地方では地域の特色を生かしたさまざまな農水産物の生産が見られ、交通網の整備によって大都市に出荷されていることを理解する。	・農水産物の出荷先などを橋の影響とともにまとめる。	C(3)④	・高速道路などの交通網の整備によって農水産物が大都市に輸送できるようになり、市場が拡大し競争力が高まったことを理解している。	我が国の国土の自然環境と国民生活の関連		
	人々を呼び寄せる地域の取組	1	・過疎地域が行っている町おこし・村おこしの成果と課題について、特色ある観光資源や交通・通信網の活用などの視点から考察する。	・村おこし、町おこしの具体例を調べてまとめる。	C(3)④	・過疎地域の対策について、交通・通信網の整備と関連付けて考察し、表現している。			
	まとめ	1	・中国・四国地方の交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、中国・四国地方で交通・通信網が重要な役割	レポートを作成しよう！ 「交通網の発達にはどのような利点と課題があるのだろうか？」	C(3)④	・中国・四国地方で、交通・通信網が重要な役割を果たしている理由を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を生かして具体的に表現している。			

				を果たしている理由を多面的・多角的に考察する。					
		単元テスト	1						
10	第3節 近畿地方 (6時間)	近畿地方の 自然環境	1	・近畿地方について、地形図や人口分布図などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・近畿地方の自然や気候の特徴を地図から読み取り、州を大観する。	C(3)①	・南北で大きく異なる地形や気候、人口や産業の変化などの特色を大まかに理解し、その知識を身に付けている。	4年 ア(ア) 47都道府県の名称と位置  5年生 (1) 我が国の国土の様子と国民生活  (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活の関連	
		琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏	1	・京阪神大都市圏の発達を、琵琶湖・淀川水系との関係や歴史的背景からとらえ、説明できるようにする。	・関西の人々が使用する水と、湖の関係を資料からまとめる。	C(3)①	・京阪神大都市圏の発達を歴史的背景と関連付けて理解している。		
		阪神工業地帯と環境問題への取組	1	・近畿地方の大都市圏の成り立ちや工業の発達について、地図や写真などの資料を通して、理解する。	・阪神工業地帯の特徴をグラフからまとめる。	C(3)①	・大阪大都市圏を中心に、早くから都市と産業が発達した背景を理解し、その知識を身に付けている。		
		古都京都・奈良と歴史的景観の保全	1	・近畿地方の古都などに見られる伝統的な文化、歴史的な景観の保存と開発について、調和という視点から考察する。	・京都の歴史保全の取組を資料や映像から読み取り、まとめる。	C(3)①	・京都市に残っている伝統的な文化や歴史的な景観の保存の意義と課題について、多面的・多角的に考察している。		
		まとめ	1	・自然環境の保全を中核とした考察の仕方を取り上げた近畿地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り、これらを理解する。	・レポートを作成しよう！ 「近畿地方の生活の知恵をまとめよう」	C(3)①	・自然環境の保全を中核とする考察の仕方を基に学んできた近畿地方の地域的特色やそこで生ずる課題を表にまとめて振り返り、理解している。		
		単元テスト	1						

第4節 中部地方 (7時間)	中部地方の 自然環境	1	・中部地方について、地形図や統計グラフなどの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・中部地方の自然や気候の特徴を地図から読み取り、州を大観する。	C(3)③	・三つに分かれる地域の地形や気候、日本最大の工業生産額とその他の特色ある産業、東海地方に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けている。	4年 ア(ア) 47都道府県 の名称と位置	
	中京工業地帯の発展と 名古屋大都市圏  東海で発達するさまざまな産業	2	・東海で発展した世界をリードする各種の工業について、その変容にともなう課題の視点から考察する。	・中京工業地帯と、東海工業地域の特徴をグラフを比較して、まとめる。	C(3)③	・東海の工業の特色について、交通網や貿易などの社会的条件と関連付けて多面的・多角的に考察している。	5年生 (1) 我が国の国土の様子と国民生活  (5)	
	内陸にある 中央高地の 産業の移り 変わり	1	・中央高地で盛んな農業や工業に関する具体的な資料を通して、各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。	・中央高地の農業の特徴を気候の面から考察する。	C(3)③	・中央高地の農業や工業の特色を、自然の特色や交通の発達、戦争との関連などを示す資料と関連付けて読み取っている。	我が国の国土の自然環境と国民生活の関連	
	雪を生かした北陸の産業	1	・北陸の伝統産業や地場産業について、自然条件や歴史的背景などの視点から考察する。	・地場産業が盛んな理由を、北陸の気候面から考察してまとめる。	C(3)③	・北陸の伝統産業や地場産業が発展した理由について、冬に雪が多い気候の特色と関連付けて考察し、その過程や結果を表現している。		
	まとめ	1	・産業を中核とした考察の仕方を取り上げた中部地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り、これらを理解する。	・レポートを作成しよう! 「中部地方を3つに分けた時、それぞれの地域ではどんな特徴的な産業が盛んなのだろうか？」	C(3)③	・産業を中核とする考察の仕方を基に学んできた中部地方で盛んな産業と、その産業が盛んとなった理由を図にまとめて振り返り、理解している。		
	単元テスト	1						

11	5節 関東地方 (7時間)	関東地方の 自然環境	1	・関東地方について、人口分布 図や統計グラフなどの資料から 概観し、基礎的・基本的な知識 を身に付ける。	・関東地方の自然や気候の特 徴を地図から読み取り、州を 大観する。	C(3)②	・山地に囲まれた広大な平野と特色ある気 候、日本最大の人口密集地域、日本の交通と 通信の中心地などの特色を理解し、その知識 を身に付けている。	4年 ア(ア)	
		多くの人が 集まる首 都、東京	1	・企業や学校などが集中する東 京は、通勤・通学で広い地域と 結び付いており、東京大都市圏 が形成されていることを理解す る。	・昼間人口と夜間人口の特徴 を都心と郊外の関係からまと める。	C(3)②	・東京を中心として交通網が形成され、通 勤・通学で強い結び付きをもった東京大都市 圏が拡大していったことを理解している。	5年生 (1)	我が国の国土 の様子と国民
		東京大都市 圏の課題と 対策	1	・関東地方の都市の課題を解決 するためにニュータウンが建設 された背景や現状、について考 察する。	・東京都の過密問題の具体的 内容を調べ、まとめる。	C(3)②	・ニュータウンや過密化が進む地域の課題に ついて、多面的・多角的に考察している。	生活  (5)	我が国の国土
		工業地域の 変化と第3 次産業の発 達	1	・関東地方の工業の特色を、臨 海部と内陸部の結び付きに着目 しながら理解する。	・関東地方の工業地域の特徴 をグラフを比較して読み取 る。	C(3)②	・関東地方の農業や工業の特色とその変容に ついて、東京と周辺地域との結び付きや人口 分布の変化などに着目して捉えている。	の自然環境と 国民生活の関 連	
		大都市周辺 の農業と山 間部の過疎 問題	1	・過疎地域が行っている地域活 性化の成果と課題について、特 色ある産業や景観、都市部との 交流などの視点から考察する。	・過疎地域での具体的な取組 を調べてまとめる。	C(3)②	・過疎地域の対策について、都市部との交流 と関連付けて考察し、表現している。		
		まとめ	1	・人口や都市・村落を中核とし た考察の仕方を取り上げた関東 地方の地域的特色とそこで生ず る課題を「まとめの活動」を通 して振り返り、これらを理解す る。	レポートを作成しよう！ 「なぜ関東地方には多くの人 が集まるのだろうか？」	C(3)②	・人口や都市・村落を中核とする考察の仕方 を基に学んできた近畿地方の地域的特色やそ こで生ずる課題を表にまとめて振り返り、理 解している。		
		単元テスト							

第6節 東北地方 (6時間)	東北地方の 自然環境	1	・東北地方について、地形図や、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付ける。	・東北地方の自然や気候の特徴を地図から読み取り、州を大観する。	C(3)⑤	・山地が多く東西で大きく異なる気候、盛んな農業、鉄道や道路の路線に集中する人口などの特色を理解し、その知識を身に付けている。	4年 ア(ア) 47都道府県 の名称と位置
	伝統行事と 生活や文化 の変化	1	・東北地方の伝統行事や習慣を通して、自然環境や歴史的背景、産業などの地域的特色を理解する。	・伝統行事の名称と、内容を調べてまとめる。	C(3)⑤	・伝統行事や食文化、習慣と、農業や気候との関連を通して、東北地方の地域的特色を捉えている。	5年生 (1) 我が国の国土
	稲作と畑作 に対する 人々の工夫 や努力	1	・さまざまな資料から、東北地方の農業の特色を適切に読み取り、東北地方の稲作や畑作の実態や工夫を理解する。	・東北地方の農業の特徴を諸資料から読み取り、まとめる。	C(3)⑤	・さまざまな資料から、東北地方の農業の特色を適切に読み取り、東北地方の稲作や畑作の実態や工夫を理解している。	の様子と国民 生活 (5)
	工業の発展 と人々の生 活の変化	1	・東北地方の伝統産業や地場産業の特色について、自然環境との結びつきから理解する。	・東北地方の気候面から伝統産業が盛んな理由を考察する。	C(3)⑤	・東北地方の伝統産業や地場産業が発展した理由について、自然環境の特色と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	我が国の国土 の自然環境と 国民生活の関 連
	まとめ	1	・生活・文化を中核とした考察の仕方を取り上げた東北地方の地域的特色とそこで生ずる課題を「まとめの活動」を通して振り返り、これらを理解する。	レポートを作成しよう！ 「東北地方の祭りにはどんな意味が込められているかまとめよう」	C(3)⑤	・生活・文化を中核とする考察の仕方を基に学んできた東北地方の地域的特色を、受け継がれている生活・文化に着目して図にまとめて振り返り、理解している。	
	単元テスト	1					

59時間  
歴史分野へ

指導時期	単元名	教材名	配 当 時 数	教材目標	学習活動	学習指導 要領との 対応	評価基準	小学校と の関連	重点
12	1節 欧米における 近代化の進展 (5時間)	イギリスと アメリカの 革命	1	・イギリスとアメリカの政治体制の変化と現代の政治とのつながりを理解する。	・革命が起こった理由を、原因と結果からまとめる。	C(1) ア (ア)(イ)、1(ア)	・イギリスとアメリカが革命を経て近代国家を形成していった過程とイギリスの議会政治が現代社会の議会制度の基となっていることを理解している。	6年 (2) 我が国の歴史上の主な事象	
		フランス革命	1	・フランスの政治体制の変化を、革命とその影響に着目して考察し、表現する。	・フランス革命の様子を絵画を通して理解する。	C(1) ア (ア)(イ)、1(ア)	・フランスの政治体制の変化を、革命の成果と現代の政治とのつながりに着目して考察し、表現している。		
		ヨーロッパにおける国民意識の高まり	1	・19世紀のヨーロッパ各国でどのような社会変化が起きたかを理解する。	・国民意識の高まりが起こった理由をまとめる。	C(1) ア (ア)(イ)、1(ア)	・ヨーロッパで国民国家が形成され、近代国家としてのまとまりをつくっていったことを理解している。		
		ロシアとアメリカの拡大と発展	1	・ロシアとアメリカ合衆国が拡大・発展する過程で、さまざまな問題を抱えていたことを考察し、表現する。	・南北戦争がどのような意味を持った戦争だったのかを資料から考察する。	C(1) ア (ア)(イ)、1(ア)	・ロシアとアメリカ合衆国が拡大・発展する過程を、貧富の差や先住民の問題、人種問題などに関連付けて考察し、表現している。		
		産業革命と資本主義	1	・産業革命を経て、経済の仕組みが大きく変化し、労働問題や社会問題が発生したことを考察し、表現する。	・産業革命によってどのような利点と課題が発生したのかまとめる。	C(1) ア (ア)(イ)、1(ア)	・産業革命が欧米諸国に与えた影響を労働問題や社会主義と関連付けて考察し、表現している。		
	2節 欧米の進出と日本の開国	欧米のアジア侵略	1	・欧米諸国がどのようにアジアに進出したかを理解する。	・アヘン戦争の内容から日本にどのような変化があったのかを考察する。	C(1) ア (ア)(イ)、1(ア)	・欧米諸国がアジアに進出し、武力により植民地支配を始めたことを理解している。	6年	

	(6時間)	開国と不平等条約	1	・幕府が結んだ外交関係を条約の内容に着目して考察し、表現する。	・2つの条約から、日本と海外の関わりがどのように変化したのかをまとめる。	C(1) 7 (7)(イ)、1(7)	・幕府が結んだ欧米との外交関係を、条約の内容などと関連付けて考察し、表現している。	(2) 我が国の歴史上の主な事象	
		開国後の政治と経済	1	・開国により日本がどのような影響を受けたかを理解する。	・政治と経済の変化を諸資料からまとめる。	C(1) 7 (7)(イ)、1(7)	・開国後の日本が政治的にも経済的にも混乱したことを理解している。		
		江戸幕府の滅亡	1	・江戸幕府滅亡までの流れを、開国による政治的及び社会的な影響とその推移に着目して考察し、表現する。	・江戸幕府の滅亡までの過程を事件を通じてまとめる。	C(1) 7 (7)(イ)、1(7)	・江戸幕府の滅亡を、雄藩の動きと推移に着目して考察し、表現している。		
		まとめ	1	・欧米諸国の進出や開国、その後の幕府の対応と関連付けて考察・表現し、江戸幕府が滅んだ理由を理解する。	・レポートを作成しよう！「江戸幕府が滅亡したきっかけは何だろうか？」	C(1) 7 (7)(イ)、1(7)	・江戸幕府が滅んだ理由を、欧米諸国の進出や開国、その後の幕府の対応、民衆の生活と関連付けて考察し、表現している。		
		単元テスト	1						
2	3節 明治維新 (8時間)	新政府の成立	1	・新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。	・明治政府が目指した国家の理想像を五箇条の御誓文から読み取る。	C(1) 7 (1)(ウ)、1(7)	・新政府により、中央集権国家の体制が確立し、近代国家の基礎が整えられていったことを理解している。	6年 (2) 我が国の歴史上の主な事象	
		明治維新の三大改革	1	・新政府が行った学制・兵制・税制の改革による人々の生活の変化を理解する。	・三大改革の内容をまとめる。	C(1) 7 (1)(ウ)、1(7)	・学制・兵制・税制の改革により、人々が国民としての負担を受ける生活となったことを理解している。		
		富国強兵と文明開化	1	・富国強兵・殖産興業政策が人々の生活に及ぼした影響について、江戸時代の生活との比較をして考察し、表現する。	・文明開化の内容を江戸時代の様子と比較して考察する。	C(1) 7 (1)(ウ)、1(7)	・富国強兵・殖産興業政策による変化を、産業の発展や欧米文化の広まりに着目し、江戸時代と比較をして考察し、表現している。		
		近代的な国際関係	1	・明治政府は諸外国とどのような外交関係を結ぼうとしたか理解する。	・岩倉使節団の動向を地図からまとめる。	C(1) 7 (1)(ウ)、1(7)	・明治政府が欧米諸国とは平等な関係を、アジア諸国とは欧米諸国のような条約による外交関係を結ぼうとしていたことを理解している。		

		国境と領土の確定	1	明治政府が行った国境・領土の確定について、北海道と沖縄に着目して考察し、表現する。	・北海道の領土問題を諸資料からまとめる。	C(1) 7 (1)(ウ)、1(ア)	・明治政府の行った国境・領土の確定について、北海道とロシア、沖縄と中国の關係に着目して考察し、表現している。		
		自由民権運動の高まり	1	・自由民権運動が求めている社会とはどのようなものか理解する。	・大隈と板垣の動向から自由民権運動の展開をまとめる。	C(1) 7 (1)(ウ)、1(ア)	・自由民権運動が一部の権力者だけではなく、国会をつくり幅広く人々が政治参加できることを求めていることを理解している。		
		立憲制国家の成立	1	・大日本帝国憲法制定のねらいや、現代とのつながりを理解する。	・大日本帝国憲法の内容から、その特徴を読み取る。	C(1) 7 (1)(ウ)、1(ア)	・大日本帝国憲法が立憲制国家成立の為に制定され、憲法に基づいて政治が行われるという現代とのつながりを理解している。		
		単元テスト	1						
3	4節 日清・日露戦争と近代産業 (8時間)	欧米列強の侵略と条約改正	1	・条約改正に至る過程や、欧米諸国と対等な外交關係が結ばれるまでの動きを、国内の改革と関連付けて考察し、表現する。	・外務大臣の動きから、条約撤廃までの過程を考察する。	C(1) 7 (ウ)(I)、1(ア)	・日本が条約改正できた経緯を、日本の近代化の推移に着目して考察し、表現している。	6年 (2) 我が国の歴史上の主な事象	
		日清戦争	1	・日清戦争の背景と影響を、国際情勢と関連付けて考察し、表現する。	・日清戦争の内容を風刺画から読み取る。	C(1) 7 (ウ)(I)、1(ア)	・日清戦争の背景と影響を、ロシアや朝鮮などの国々の動向と関連付けて考察し、表現する。		
		日露戦争	1	・日露戦争が起きた経緯やその影響を理解する。	・日露戦争の内容を風刺画から読み取る。	C(1) 7 (ウ)(I)、1(ア)	・日露戦争が国際社会の動向と関連して起きたことやその後に日本の国際社会の動向に影響を与えたことを理解している。		
		韓国と中国	1	・韓国と中国の政治変化を、日本の動向や民族意識と関連付けて考察し、表現する。	・韓国併合が現在の日韓關係にどのような影響を与えているかを考察する。	C(1) 7 (ウ)(I)、1(ア)	・韓国や中国での政治変化について、日本の植民地化や辛亥革命に着目して考察し、表現している。		
		産業革命の進展	1	・明治時代の産業と人々の生活の変化を理解する。	・八幡製鉄所の特徴を中国との関わりから読み取る。	C(1) 7 (ウ)(I)、1(ア)	・近代産業が発展して資本主義の基礎が固まった一方で様々な社会問題が生じたことを理解している。		

		近代文化の形成	1	・明治時代の文化の特色を理解する。	・明治期の文化財を写真と共にまとめる。	C(1) 7 (ウ) (I)、1(7)	・明治時代に近代文化が形成され、学問・教育・科学・芸術などの分野で発展したことを理解している。		
		まとめ	1	・欧米諸国のアジア進出や日本の国際進出を関連付けて考察・表現し、日本が中国やロシアと戦争になった理由を理解する。	レポートを作成しよう！ 「明治期に一番活躍した人物の紹介文を書こう」	C(1) 7 (ウ) (I)、1(7)	・議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
		単元テスト	1						

27時間

※年3回の学力テストの時間を設ける。

※総時数 地理分野58時間 歴史分野47で計上する。

## 2026年度 3年 社会科 年間指導計画

### 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

### 歴史分野の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

### 公民分野の目標

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

指導時期	単元名	教材名	配 当 時 数	教材目標	学習活動	学習指導 要領との 対応	評価基準	小学校と の関連	重点
4	第6章 二度の世界大 戦と日本 1節 第一次世界大 戦と日本 (4時間)	第一次世界 大戦	1	・第一次世界大戦がどのように 拡大したのか、また日本の参戦 した理由を理解している。	・第一次世界大戦が従来の戦 争と比較してどのような特徴 があったのかを写真から考察 する。	C(1) ア(オ)、イ (ア)	・第一次世界大戦が列強間の対立から拡大し たこと、日本が日英同盟を理由に参戦したこ とを理解している。	6年生 (2)我が国の 歴史上の主な 事象	
		ロシア革命	1	・第一次世界大戦中のロシアで どのような動きがあり、世界は どう対応したのかを理解する。	・ロシア革命が日本国内にど のような影響をもたらしたの かを考察する。	C(1) ア(オ)、イ (ア)	・ロシア革命により社会主義国家が誕生し、 各国はそれを阻止しようとしたことを理解し ている。		
		国際協調の 高まり	1	・第一次世界大戦後の国際関係 について、ベルサイユ条約に着 目して考察し、表現する。	・ベルサイユ条約にはどのよ うな特徴があるのかを資料か ら読み取る。	C(1) ア(オ)、イ (ア)	・第一次世界大戦後の国際関係について、民 族自決やアメリカの動向、民主主義の広まり を関連付けて考察し、表現している。		

		アジアの民族運動	1	・第一次世界大戦後のアジアの動向を、日本の進出や民族運動を関連付けて考察し、表現する	・アジアでの民族運動の内容をまとめる。	C(1) ア(カ)、イ(ア)	・第一次世界大戦後のアジアの動向を、民族自決や日本の植民地拡大などと関連付けて考察し、表現している。		
	2節 大正デモクラシーの時代 (3時間)	大正デモクラシーと政党内閣の成立	1	・大正時代の社会や政治の特色について理解する。	・大正時代の政治の特色を当時の人々の考えから考察する。	C(1) ア(カ)、イ(ア)	・大正時代には大正デモクラシーという国民の政治参加への意識が高まったことを理解している。	6年生 (2)我が国の歴史上の主な事象	
広がる社会運動と男子普通選挙の実現		1	・デモクラシーの風潮の高まりについて、国民の動きに着目して考察し、表現する。	・従来の選挙と普通選挙の違いを読み取る。	C(1) ア(カ)、イ(ア)	・デモクラシーの風潮の高まりについて、国民の不満から起きる社会運動や普通選挙を求める運動と関連付けて考察し、表現している。			
新しい文化と生活		1	・大正から昭和初期の文化や生活様式の特徴を理解する。	・文化の大衆化の具体例をメディアの視点からまとめる。	C(1) ア(カ)、イ(ア)	・大正時代にはメディアが発展し、文化が大衆化したり欧米風の生活様式が広まったりしたことを理解している。			
5	3節 世界恐慌と日本の中国侵略 (5時間)	世界恐慌と各国の対策	1	・世界恐慌が世界に与えた影響を、各国の対応に着目して考察し、表現する。	・アメリカとイギリスの対策から経済の動きを考察する。	C(1) ア(カ)、イ(ア)	・世界恐慌の影響について、恐慌の原因と各国の対応を関連付けて考察し、表現している。	6年生 (2)我が国の歴史上の主な事象	
欧米の情勢とファシズム		1	・ファシズムがどのように台頭してきたかを理解する。	・諸資料からファシズムに至った経緯をまとめる。	C(1) ア(カ)、イ(ア)	・ドイツやイタリアでは第一次世界大戦や世界恐慌後の不況や政治混乱からファシズムが台頭したことを理解している。			
昭和恐慌と政党内閣の危機		1	・昭和に入り、日本の政党政治がどのような危機を迎えたかを理解する。	・犬養毅内閣の動向から、軍部の台頭へと繋がる動きをまとめる。	C(1) ア(カ)、イ(ア)	・日本の政党政治が、不況や東アジアへの外交の面で国民からの信頼を失っていったことを理解している。			
満州事変と軍部の台頭		1	・満州事変後の日本の政治の変化を、国内の混乱や国際情勢に着目して考察し、表現する。	・国際情勢とともに満州事変への過程を考察する。	C(1) ア(カ)、イ(ア)	・満州事変後の日本の政治の変化を、軍部の台頭や国際関係の変化に着目して考察し、表現している。			

		日中戦争と戦時体制	1	・日中戦争への経緯と国民への影響を軍部の動向や戦時体制に着目して考察し、表現する。	・日中戦争が国内に与えた影響を資料から読み取る。	C(1) ア(カ)、イ (ア)	・日中戦争への経緯とその影響について、政府と軍部の関係や国民生活への統制に着目して考察し、表現している。			
4節 第二次世界大戦と日本 (7時間)	第二次世界大戦の始まり	太平洋戦争の開始	1	・太平洋戦争が起こった理由を理解する。	・太平洋戦争開戦の流れを日本側の資料から考察する。	C(1) ア(カ)、イ (ア)	・日中戦争が長期化する中、日米関係が悪化して太平洋戦争が始まったことを理解している。	6年生 (2)我が国の歴史上の主な事象		
		戦時下の人々	1	・戦争の長期化が国民にどのような影響を与えたか理解する。	・戦時下の国民生活を諸資料から読み取る。	C(1) ア(カ)、イ (ア)	・戦争の長期化により国民生活が苦しくなっていく中で戦争に協力していったことを理解している。			
		戦争の終結	1	・第二次世界大戦終結の経過を、時系列や被害の拡大に着目して考察し、表現する。	・ポツダム宣言受諾までの流れを年表にまとめる。	C(1) ア(カ)、イ (ア)	・第二次世界大戦終結の経過を、ドイツの降伏、沖縄戦や原爆投下などに着目して考察し、表現している。			
		まとめ	2	・国際関係の変化や被害の大きさ、戦時下の国民生活を関連付けて考察・表現し、第二次世界大戦が起きた理由と世界や日本に与えた影響を理解する。	レポートを作成しよう！ 「第二次世界大戦が始まるタイミングポイントはどの段階だろうか？」	C(1) ア(カ)、イ (ア)	・第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を、大戦下の国民生活と関連付けて考察し、表現している。			
		単元テスト	1							
6	第7章 現代の日本と 私たち 1節	占領下の日本	2	・敗戦後に占領された日本はどのような状況だったのか理解する。	・GHQの占領政策をまとめる。	C(2) ア(ア)、イ (ア)	・終戦後の日本国民が苦難の生活を送る中で、GHQが非軍事化などの新しい日本につながる占領政策を進めたことを理解している。	6年生 (2)我が国の歴史上の主な事象		

戦後日本の出 発 (3時間)	民主化と日 本国憲法	1	・新しい憲法による日本の変化を、大日本帝国憲法と比較しながら考察し、表現する。	・大日本憲法と日本国憲法を比較し、特徴をまとめる。	C(2) 7(7)、1 (7)	・新しい憲法の制定による日本の変化を、大日本帝国憲法との比較から考察し、表現している。		
2節 冷戦と日本の 発展 (10時間)	冷戦の開始 と植民地の 解放	1	・冷戦がはじまり世界はどのように変化したか理解する。	・冷戦の動きを、世界各国の動向とともにまとめる。	C(2) 7(7)、1 (7)	・資本主義と共産主義が対立する中で冷戦が発生し、国家の分裂や、植民地支配の終結など、新たな国際体制が生まれたことを理解している。	6年生 (2)我が国の 歴史上の主な 事象	
	独立の回復 と55年体 制	2	・日本がこの時期に国際社会に復帰できた理由を、国際情勢と関連付けて考察し、表現する。	・日ソ共同宣言の内容から、日本の国際社会の復帰をまとめる。	C(2) 7(7)、1 (7)	・日本の国際社会への復帰を、冷戦の進展とアメリカの意向と関連付けて考察し、表現している。		
	緊張緩和と 日本外交	2	・日本の外交の広がりや国際情勢を関連付けて考察し、表現する。	・韓国や中国との関わりを条約とともにまとめる。	C(2) 7(7)、1 (7)	・日本の外交の広がりや緊張緩和の流れを時系列に着目しながら関連付けて考察し、表現している。		
	日本の高度 経済成長	1	・日本の経済成長は国民の生活をどのように変化させたか理解する。	・高度経済成長の光と影についてまとめる。	C(2) 7(7)、1 (7)	・経済成長と技術の向上によって、国民が豊かな生活を送れるようになった一方で、公害等の問題が発生したことを理解している。		
	マスメディ アと現代の 文化	1	現代日本の文化がどのように変わってきたかを理解する。	・当時の国民生活を調べ、まとめる。	C(2) 7(7)、1 (7)	・現代日本の文化は、マスメディアが社会の発展とともに変化し、国民が同じ内容の情報を持てるようになったことを理解している。		
	まとめ	1	・国内情勢と世界情勢を関連付けて考察・表現し、冷戦下の日本が経済成長することができた理由を理解する。	レポートを作成しよう！ 「日本が国際的な地位を確立するまでの動きを年表にまとめよう」	C(2) 7(7)、1 (7)	・冷戦下で日本が経済成長することができた理由について、世界情勢と関連付けて考察し、表現している。		
	3節 新たな時代の 日本と世界	冷戦後の国 際社会	1	・冷戦終結後の世界の変化と課題について理解する。	・冷戦の終結までの過程をまとめる。	C(2) 7(1)、1 (7)		・冷戦が終結し、国際協調による地域統合が進む一方で、国家を超えた紛争が多発していることを理解している。

(8時間)	変化する冷戦後の日本	1	・冷戦終結後の日本の課題を、その原因や現在の問題と関連付けて考察し、表現する。	・中東の問題と冷戦の関係を調べてまとめる。	C(2) ア(1)、イ(7)	・冷戦後の日本の課題の原因が過去にあり、現在でも続いていることを考察し、表現している。	(2)我が国の歴史上の主な事象
	持続可能な社会の実現に向けて	1	・現在の日本の課題をSDGsと関連させて、どのように解決すべきかを考察し、表現する。	・SDGsと日本の課題を関連させてまとめる。	C(2) ア(1)、イ(7)	・現在の日本の課題をSDGsと関連させて、どのように解決すべきかを考察し、表現している。	
	まとめ	1	・現在の日本を形作ったものは何かを考えることを通して、現代の日本と世界を大観し、時代の特色を捉える。	・レポートを作成しよう！ 「日本はSDGsのどこを改善すれば良いだろうか？」	C(2) ア(1)、イ(7)	・戦後の日本の発展について、世界の情勢や国際社会における日本の位置付けと関連付けて考察し、表現している。	
	単元テスト	1					
	歴史のまとめ	3	・これからの世界や日本の課題を理解し、どのように解決すべきかを考察、構想し、表現する。	レポートを作成しよう 「自分が考えるその時歴史が動いた瞬間をまとめる」	C(2) ア(1)、イ(7)	・これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	

40時間  
公民分野へ

指導時期	単元名	教材名	配 当 時 数	教材目標	学習活動	学習指導 要領との 対応	評価基準	小学校と の関連	重点
7	第1章 現代社会と私 たち 1節 現代社会の特 色と私たち (4時間)	持続可能な 社会に向け て (公民オリ エンテーシ ョン)	1	・地理的分野や歴史的分野の学 習内容を振り返るとともに、教 科書の目次などを基に、これか ら学習する公民的分野の学習の 概要を把握する。	・公民分野の学習の概要を教 科書から把握をする。	A(1)	・現代社会の課題について考え、これからの 公民学習を通して主体的に社会に関わろうと している。	6年生 (1)我が国の 政治の働き (3)グローバ ル化する世界 と日本の役割	
		グローバル 化	1	・グローバル化の進展で生活や 社会が豊かで便利になった点 や、課題について考察する。	・グローバル化の進展で我々 の生活にどのような変化があ るのかを資料から読み取る。	A(1)	・グローバル化の進展で生活や社会が豊かで 便利になった点や、課題について考察し、表 現している。		
		情報化	1	・情報化の進展による課題を挙 げ、私たちが解決のためにでき ることについて考察し、表現す る。	・情報リテラシーを映像から 考え、課題点を考察する。	A(1)	・情報化の進展による課題を挙げ、私たちが 解決のためにできることについて考察し、表 現している。		
		少子高齢化	1	・人口ピラミッドなどの統計資 料を基に、日本における少子高 齢化の進行と、その原因につい て理解する。	・日本の人口の特徴を、地理 分野の内容と併せて考察し、 まとめる。	A(1)	・少子化の原因として考えられることを本文 や諸資料の読み取りを通して理解している。		
	2節 私たちの生活 と文化 (3時間)	私たちの生 活と文化の 役割	1	・文化の具体的な内容について 理解する。	・我々の生活に関係している 文化の例を挙げてまとめる。	A(1)	・文化の具体的な内容を、科学、宗教、芸術 の分野を例に挙げ、理解している。	6年生 (1)我が国の 政治の働き (3)グローバ ル化する世界 と日本の役割	

		伝統文化の継承と新たな文化の創造	1	・日本の伝統文化の具体的な内容や私たちの生活への影響について理解する。	・日本の伝統文化にはどのような思いがあるのかを調べてまとめる。	A(1)	・身近な地域に見られる伝統文化の具体的な内容について理解している。		
		多様な文化の意義	1	・多文化共生の社会を築くために、私たちに求められていることについて考察する。	・多文化社会を築くために必要なことを考え、自らの言葉でまとめる。	A(1)	・多文化共生の社会を築くために、私たちにできる具体的な取り組みについて考察している。		
	3節 現代社会の見方や考え方 (5時間)	社会集団の中で生きる私たち	1	・社会集団における対立の存在と合意への努力について考察する。	・身近な例を参考に、社会集団の中で生きることを考える。	A(2)	・社会集団における対立の存在に気付くとともに、合意を目指すことが重要であることについて考察し、表現している。	6年生 (1)我が国の政治の働き (3)グローバル化する世界と日本の役割	
		決まりを作る目的と方法	1	・物事の決定の仕方や決まりの意義について社会集団と関連付けて考察し、表現する。	・決まりが必要な理由を、表現する。	A(2)	・決まりが必要な理由について対立と合意に着目し、社会集団と関連付けて考察し、表現している。		
		効率と公正	1	・事例を通して、対立と合意、効率と公正に着目して、考察する。	・対立が起こった例を解決するための最適手段を考える。	A(2)	みんなが納得できる解決策の在り方について、対立と合意、効率と公正に着目して考察し、表現している。		
		決まりの見直し	1	・必要に応じて決まりを見直すことの重要性を理解する。	・身の回りの変更すべきルールを、効率と公正の観点からまとめる。	A(2)	・必要に応じて決まりを見直す意義について、身の回りでルールが変わった例を通して理解している。		
		単元テスト	1						
8	第2章 個人の尊重と 日本国憲法	人権の歴史と憲法	1	・人の支配と法の支配の違いについて、資料などを通して両者の比較から理解する。	・人権の歴史を、歴史分野の内容とともにまとめる。	C(1)	・人権思想と憲法の歴史の学習を踏まえ、人権と憲法の関係から法の支配について理解している。	3年生 (3)地域の安全を守る働き	
	1節 人権と日本国憲法	日本国憲法とは	1	・大日本帝国憲法と日本国憲法の比較を通して、日本国憲法の三つの基本原理を理解する。	・2つの憲法を比較して、どのような違いがあるかを考察する。	C(1)	・日本国憲法の三つの基本原理について、本文の読み取りを通して理解している。		4年生

	(6時間)	国民主権と私たちの責任	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民主権の意味について、選挙、憲法改正の国民投票、象徴としての天皇などの事例を通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民主権の内容を、憲法の前文から見つけ、意味をまとめる。</li> </ul>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民主権とは、どのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2)人々の健康や生活環境を支える事業</li> <li>(3)自然災害</li> </ul>	
		平和主義の意義と日本の役割	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が掲げる平和主義について、歴史的分野の学習内容や自衛隊の活動などを踏まえて具体的な事例を通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団的自衛権の行使について、その是非を憲法から考察してまとめる。</li> </ul>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本が平和主義を掲げる理由について本文の読み取りを通して理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>から人々を守る活動</li> <li>5年生</li> <li>(5)我が国の</li> </ul>	
		基本的人権と個人の尊重	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ基本的人権を保障することが重要なのか、資料に示された事例と憲法との関係を基に個人の尊重や法の下での平等と関連付けて、対話的な活動を通して適切に表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法第14条の内容をまとめ、個人の尊重と密接に関わっていることを考察する。</li> </ul>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的人権の保障に必要なことを、法の下での平等に着目して考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土の自然環境と国民生活の関連</li> <li>6年生</li> <li>(1)我が国の政治の働き</li> </ul>	
		単元テスト	1						
9	2節 人権と共生社会 (8時間)	平等権	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本にはどのような差別があるかを部落差別、アイヌ民族への差別、在日韓国・朝鮮人への差別など具体的な事例を通して理解する。</li> <li>共生社会を築いていくために、インクルージョンの考察など対話的な活動を通して様々な立場の人がいることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平等権に関する実際の裁判例を取り上げ、違憲か合憲かを考察して、自らの意見とともにまとめる。</li> </ul> <p>(レポート課題)</p>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在も日本に残っている差別の例を本文の読み取りを通して理解している。</li> <li>インクルージョンの実現とはどのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生</li> <li>(3)地域の安全を守る働き</li> <li>4年生</li> <li>(2)人々の健康や生活環境を支える事業</li> <li>(3)自然災害から人々を守る活動</li> </ul>	
		自由権	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由権とはどのような権利であるか、また、様々な自由があることを体系的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬局距離制限規定を取り上げ、違憲か合憲かを考察する。</li> </ul>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由権にはどのような種類があるか、本文の読み取りを通して理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生</li> <li>(5)我が国の国土の自然環</li> </ul>	

	社会権	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会権とはどのような権利であるか、また、社会権には様々な権利があることを体系的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生存権における「最低限度」の生活について、自分の意見をまとめる。</li> </ul>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会権にはどのような種類があるか、本文の読み取りを通して理解している。</li> </ul>	境と国民生活の関連 6年生 (1)我が国の政治の働き	
	人権を確実に保障するための権利	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの人権保障を確かなものにするために、参政権や請求権が日本国憲法で保障されている理由について資料の事例を通して考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法から参政権と請求権の内容をまとめる。</li> </ul>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>参政権や請求権が人権の保障にとって重要な理由を、個人の尊重の観点から考察し、表現している。</li> </ul>		
	「公共の福祉」と国民の義務	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由や権利の限界、制限されている例を本文や資料の読み取りを通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共の福祉がなぜ必要なのか、その理由を具体例から考察する。</li> </ul>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由や権利の限界、制限されている例を本文や資料の読み取りを通して理解している。</li> </ul>		
	まとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較考量論の裁判例を通して、自由権や公共の福祉の観点から自らの意見をまとめる。(レポート課題)</li> </ul>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。</li> </ul>		
	単元テスト	1						
3節 これからの人権保障 (4時間)	新しい人権	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業や科学技術の発展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか、適切に表現する。</li> <li>情報化の進展に伴う具体的な課題を資料から読み取り、認められてきた権利との関係を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい人権の定義について、憲法などから考察する。</li> <li>4つの人権の内容についてそれぞれまとめる。</li> </ul>	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい人権がどのような対立を解消するためのものか、その関係について、適切に表現している。</li> <li>情報化の進展に伴う具体的な課題と認められてきた権利の関係について、理解している。</li> </ul>	3年生 (3)地域の安全を守る働き 4年生 (2)人々の健康や生活環境を支える事業	

		グローバル社会と人権	1	・国際社会にはどのような人権上の課題があるか理解する。	・こどもの権利条約などから人権は世界共通の考えであることを理解する。	C(1)	・人権保障のために様々な条約があることを理解している。	(3)自然災害から人々を守る活動	
		まとめ	1	・3節の学習内容を振り返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現する。	・レポートを作成しよう！「安楽死の是非を根拠を述べてまとめよう」	C(1)	・3節の学習内容を振り返って、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。	5年生 (5)我が国の国土の自然環境と国民生活の関連	6年生 (1)我が国の政治の働き
10	第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 (7時間)	政治と民主主義	1	・民主主義がどのような考え方であるか理解する。	・多数決の原理の課題を、具体例から考察する。	C(2)	・民主政治における物事の決定の仕組みについて理解している。	3年生 (3)地域の安全を守る働き	
		選挙の意義と仕組み	2	・選挙の仕組みについて理解する。 ・選挙が果たしている役割について、民主主義に着目して考察し、表現する。	・選挙の仕組みと、当選方法の考え方をまとめる。	C(2)	・選挙がどのような仕組みで実施されているかについて理解している。 ・選挙が果たしている役割について、民主主義に着目して考察し、表現している。	4年生 (2)人々の健康や生活環境を支える事業	
		政党の役割	1	・政党の果たす役割について理解する。	・日本の諸課題から、適切なマニフェストを考察する。	C(2)	・日本で行われている政党政治の特徴を、本文の読み取りを通して理解している。	(3)自然災害から人々を守る活動	
		マスメディアと世論	1	・私たちがマスメディアと接する際に注意すべきことを考察し、表現する。	・社説を読み比べる活動を通して、メディアの在り方を考察する。	C(2)	・私たちがマスメディアと接する際に注意すべきことを考察し、表現している。	5年生 (5)我が国の国土の自然環境と国民生活の関連	
		選挙の課題と私たちの政治参加	1	・選挙の投票率を上げるにはどうしたらよいか、政治参加に着目して考察し、表現する。	・若者の投票率を上げるための工夫を考察して、まとめる。	C(2)	・選挙の投票率を上げるにはどうしたらよいか、政治参加に着目して考察し、表現している。	6年生	
		単元テスト	1						

								(1)我が国の政治の働き	
2節 国の政治の仕組み (10時間)	国会の地位と仕組み	1	・国会の地位と仕組みについて理解する。	・国会議員について、諸資料を参考にまとめる。	C(2)	・衆議院と参議院の違いについて、本文や資料の読み取りを通して理解している。	3年生	(3)地域の安全を守る働き	
	国会の仕事	2	・国会の主な仕事について、理解する。 ・私たちと国会との関係について、考察し、表現する。	・衆議院の優越が認められている理由を、資料からまとめる。	C(2)	・衆議院と参議院の違いについて、本文や資料の読み取りを通して理解している。 ・私たちと国会との関係について、考察し、表現している。	4年生	(2)人々の健康や生活環境	
	行政の仕組みと内閣	1	・日本の内閣と国会との関係について、考察し、表現する。	・議院内閣制と大統領制の違いを考察する。	C(2)	・日本の内閣と国会との関係について、考察し、表現している。		を支える事業	
	裁判所の仕組みと働き	1	・司法権の独立の原則が必要な理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現する。	・大津事件を例に、司法権の独立が司法には欠かせないことを理解する。	C(2)	・司法権の独立の原則が必要な理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現している。		(3)自然災害から人々を守る活動	
	裁判の種類と人権	1	・裁判はどのような仕組みがあるかについて理解する。	・裁判の仕組みをDVDを見ながら考察する。	C(2)	・裁判において、被疑者以外に裁判に出席する人と、それぞれの役割について、本文の読み取りを通して理解している。		5年生	
	私たちの司法と裁判員制度	1	・裁判がより身近で公正なものになるための取り組みについて理解する。	・裁判員裁判の利点と課題を資料からまとめる。	C(2)	・裁判員が、裁判官とともに担当する役割を、本文や資料の読み取りを通して理解している。		(5)我が国の国土の自然環境と国民生活の関連	
	三権の抑制と均衡	2	・2節の学習内容を基に、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割について、また、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。	レポートを作成しよう！ 「立法権、行政権、司法権の中で、行政権の権力が大きくなることが多いのはなぜだろうか？」	C(2)	・2節の学習内容を基に、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割について、また、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。	6年生	(1)我が国の政治の働き	

		単元テスト	1	・					
3節 地方自治と私 たち (6時間)	地方自治の 考え方と役 割	1	・ 地方公共団体の役割について 理解する。	・ 地方公共団体の仕事と国の 仕事にはどのような違いがあ るか考察する。	C(2)	・ 地方公共団体の役割について理解してい る。	3年生 (3)地域の安 全を守る働き		
	地方自治の 仕組み	1	・ 地方自治での二元代表制の特 徴について、国の政治との違い に着目して考察し、表現する。	・ 国の政治の仕組みと地方の 政治の仕組みの違いを図から 読み取る。	C(2)	・ 地方自治での二元代表制の特徴について、 国の政治との違いに着目して考察し、表現し ている。	4年生 (2)人々の健 康や生活環境		
	地方公共団 体の課題	1	・ 地方公共団体にはどのような 課題があるかについて理解す る。	・ 地方財政の課題を、過密地 域と過疎地域のグラフを比較 して、考察する。	C(2)	・ 地方公共団体の財政を支える収入につい て、本文や資料の読み取りを通して理解して いる。	を支える事業 (3)自然災害 から人々を守		
	住民参加の 拡大と私た ち	1	住民が地方公共団体の政治に参 加する方法について理解する。	・ 実際の例を参考に、住民投 票の重要性を考える。	C(2)	・ 住民が地方公共団体の政治に参加する方法 について理解している。	る活動 5年生 (5)我が国の		
	まとめ	1	・ ・第3章の学習内容を振り返 って、対立と合意、効率と公 正、個人の尊重と法の支配、民 主主義などに着目して、民主政 治や国の政治の在り方、地方自 治の課題とその解決策について 多面的・多角的に考察、構想 し、表現させる。	・ まとめ活動 「S市の議員になって条例を 作ろう」	C(2)	・ 第3章の学習内容を振り返って、対立と合 意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民 主主義などに着目して、民主政治や国の政治 の在り方、地方自治の課題とその解決策につ いて多面的・多角的に考察、構想し、表現し ている。	国土の自然環 境と国民生活 の関連 6年生 (1)我が国の 政治の働き		
	単元テスト	1							
11	第4章 私たちの暮ら しと経済 1節	私たちの消 費生活	1	・ 私たちの消費生活と経済との 関わりについて理解する。	・ 将来のお金の計算を考えて 表現する。	B(1) (2)	・ 私たちが日常生活の中でしている消費活動 について理解している。	3年生 (2)地域に見	
	契約と消費 生活	1	・ 消費者にとって契約とは何か を理解する。	・ 実際の事例から消費者の立 場が弱いことを理解する。	B(1) (2)	・ 消費者主権とはどのようなことを意味して いるか、本文の読み取りを通して、理解して いる。	られる生産や 販売の仕事 4年生		

消費生活と経済 (4時間)	消費者の権利を守るために	1	・自立した消費者であるためにはどうすべきか考察し、表現する。	・消費者を守る権利を法律面から読み取る。	B(1) (2)	・自立した消費者であるためにはどうすべきか、判断や責任に着目して考察し、表現している。	(2)人々の健康や生活環境を支える事業	
	消費生活を支える流通	1	・流通の合理化がもたらす影響について考察する。	・POSシステムの利点をまとめる。	B(1) (2)	・流通の合理化がもたらす影響について考察している。	5年生 (2)我が国の農業と水産業における食料生産 (3)我が国の工業生産 (4)我が国の情報と産業との関わり	
2節 生産と労働 (7時間)	生産活動と企業	1	・私たちの生活に必要なものはどのように生産されているか理解する。	・財とサービスの違いをまとめる。	B(1) (2)	・私たちが日常生活の中で消費している財やサービスについて調べ、まとめている。	3年生 (2)地域に見られる生産や	
	企業の種類	1	・企業にはどのような種類があるかについて理解する。	・稚内市における企業を参考に、公企業と私企業に分類する。	B(1) (2)	・情報を適切に収集・選択し、読み取る学習を通して、身近な地域にある様々な企業について調べ、まとめている。	販売の仕事 4年生 (2)人々の健康や生活環境	
	株式会社の仕組み	3	・株式会社の仕組みについて理解する。 ・株価が上下変動する仕組みを考察する。	・株式シミュレーションゲームを通して、株価上下の仕組みを体験する。	B(1) (2)	・株式とはどのようなものか理解している。 ・株価が変動する仕組みを考察し、適切に表現している。	を支える事業 5年生 (2)我が国の	
	労働の意義と労働者の権利	1	・労働者の権利を守るための取り組みについて理解する。	・労働者を守る権利を法律からまとめる。	B(1) (2)	・労働者の権利について本文から読み取る学習を通して理解している。	農業と水産業における食料生産	

	労働環境の変化と課題	1	・労働環境の変化と課題について考察し、表現する。	・非正規雇用の利点と課題点をそれぞれ考察する。	B(1) (2)	・労働環境の課題を解決し、いきいきと働ける社会の実現に向けて考察し、表現している。	(3)我が国の工業生産 (4)我が国の情報と産業との関わり	
3節 市場経済の仕組みと金融 (7時間)	市場経済と価格の決め方	1	・市場経済における価格の決定について理解する。	・需要量と供給量の仕組みを作図をしながらまとめる。	B(1)	・需要量と供給量とはどのようなことを意味しているかについて理解している。	3年生 (2)地域に見られる生産や販売の仕事 4年生 (2)人々の健康や生活環境を支える事業 5年生 (2)我が国の農業と水産業における食料生産 (3)我が国の工業生産 (4)我が国の情報と産業との関わり	
	価格の働き	1	・市場経済において価格が果たしている役割を、効率の観点から適切に表現する。	・独占が禁止されている理由を表現する。	B(1)	・市場経済において価格が果たしている役割を、効率に着目して考察し、表現している。		

		貨幣の役割と金融	1	・身近な事例を基に、貨幣の役割や金融の働きについて理解する。	・貨幣の役割を身近な例を通して表現する。	B(1)	・貨幣の役割や金融の働きについて、本文から読み取る学習を通して、理解している。		
		銀行と新しい金融	1	・私たちの生活で銀行が果たす役割について理解する。	・銀行が儲かる理由を考察する。	B(1)	・私たちの生活で銀行が果たす役割について理解している。		
		景気と金融政策	1	・景気の変動に対して、どのような取り組みがなされているのかについて、日本銀行の金融政策と景気を関連付けながら考察し、表現する。	・景気が上下するときに社会の経済状況を、お金の量から考察して、まとめる。	B(1)	・景気の変動に対して、どのような取り組みがなされているのかについて、日本銀行の金融政策と景気を関連付けながら考察し、表現している。		
		グローバル経済と金融	1	・経済や金融のグローバル化が私たちの生活にどのような影響を与えているか考察する。	・円高と円安に関する問題演習を行う。	B(1)	・商品の価格が円高、円安によってどのように変動するか考察している。		
		単元テスト	1						
12	4節 財政と国民の福祉 (6時間)	私たちの生活と財政	2	・私たちが納める税金の種類や仕組みについて、理解する。 ・公正の観点から税金の負担について考察する。	・所得税の公平性について、教科書の事例から考える。	B(2)	・私たちが日常生活の中で納めている税金について理解している。 ・憲法で、国民に納税の義務がある理由について、税金の役割に着目して考察し、表現している。	3年生 (2)地域に見られる生産や販売の仕事 4年生	
		租税教室	1	・稚内市や北海道の税金の仕組みを理解する。	・外部講師の方々の講義を聴きながら、税金の在り方を意欲的に学ぼうとする。	B(2)	・稚内市や北海道の税金の仕組みを理解している。	(2)人々の健康や生活環境を支える事業	
		財政の役割と課題	1	・身近な社会資本や公共サービスについて調べ、政府が果たしている経済的な役割と課題を理解する。	・税金の使い道を調べて、まとめる。	B(2)	・公共サービスは、どこがどのように提供しているか、本文から読み取る学習を通して、理解している。	5年生 (2)我が国の農業と水産業	



1	第5章 地球社会と私 たち 1節 国際社会の仕 組み (5時間)	国際社会に おける国家	1	・国際法が国際社会の中で重要な理由について、協調に着目して考察する。	・国際法にはどのような意義があるのかを調べてまとめる。	D(1)	・国際法が国際社会の中で重要な理由について、協調に着目して考察している。	6年生 (3)グローバル化する世界 と日本の役割
		領土をめぐる問題の現状	1	・日本の領土をめぐる問題の現状を理解し、日本の外交上の課題について考察する。	・北方領土における、日本政府の対応を調べて具体的にまとめる。	D(1)	・地理や歴史での学習をふまえて、領土問題の解決策について考察し、表現している。	
		新興国の台頭と経済格差	1	・新興国の台頭などの国際関係の変化について、理解する。	・南北問題の広がりや地図から読み取る。	D(1)	・南北問題と南南問題について理解している。	
		国際連合の仕組みと役割	1	・国際連合の役割と抱えている課題について、様々な資料を基に考え、話し合う。	・北朝鮮を事例に、国際連合の課題点を考察する。	D(1)	・国際連合の活動に対する日本の役割について、国連の役割に着目して考察し、表現している。	
		国際的な経済制度	1	地域主義の動きについて、EUやTPPなどの具体的な事例を通して理解する。	・地域主義が進んでいる国の具体的な活動を調べる。	D(1)	・EUを例に地域主義の中で進んでいる結びつきの内容について本文や資料の読み取りを通して理解している。	
2	2節 さまざまな国際問題 (5時間)	貧困問題	1	・人口増加や食料供給の偏りなど様々な要因が重なり合って貧困問題が発生していることについて理解し、その解決策を考える。	・SDGsの観点から、日本の貧困問題を調べる。	D(1)	・貧困が起こる理由について、本文や資料の読み取りを通して理解している。	6年生 (3)グローバル化する世界 と日本の役割
		難民問題	1	・難民問題の解決に向けて必要なことを考察し、表現する。	・SDGsの観点から、難民問題の具体的な現状を調べる。	D(1)	・難民問題の解決に必要な取り組みについて、協調や持続可能性の観点から考察している。	
		地球環境問題	1	・地球にはどのような環境問題があるか理解する。	SDGsの観点から、日本の地球環境問題への対策を調べ、まとめる。	D(1)	・地球温暖化が起こっている理由について、本文や資料の読み取りを通して理解している。	

		気候変動と資源・エネルギー問題	1	・日本のエネルギーの供給・消費の現状について理解し、これからの日本のエネルギーの在り方について考える。	SDGsの観点から、世界のエネルギー問題への対応策を調べる。	D(1)	・世界のエネルギー問題の解決に向けて、日本が果たすべき役割について持続可能性の観点から考察し、表現している。		
		平和な世界に向けて	1	・地域紛争やテロリズムが起きていることを理解し、その背景について考える。	テロリズムの定義や内容を調べて、まとめる。	D(1)	・地域紛争を、「新しい戦争」と呼ぶ理由について、これまでの戦争との違いから理解している。		
	3節 これからの地球社会と日本 (4時間)	世界と協力する日本	1	・日本の国際貢献について、途上国の開発や国際協力の面から理解する。	日本が行っている国際貢献の具体例を調べてまとめる。	D(1)	・日本の国際貢献について、本文や資料の読み取りを通して途上国の開発や国際協力の面から理解している。	6年生 (3)グローバル化する世界と日本の役割	
		まとめ	2	・第5章の学習内容を振り返って、架空の国際問題の解決策について考えることを通して、国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	レポートを作成しよう！ 「はちみつ争い」から国際的な課題を解決するための策を具体的に記入しよう	D(1)	・第5章の学習内容を振り返って、架空の国際問題の解決策について考えることを通して、国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		
	単元テスト	1							
3	終章 より良い社会を目指して (4時間)	持続可能な社会の形成者として	1	・持続可能な社会を実現するためには、様々な社会の課題を解決することが必要であることを理解する。	・SDGsと現代の課題を関連させてまとめる。	D(2)	・持続可能な社会を実現するためには、様々な社会の課題を解決することが必要であることを理解している。	6年生 (3)グローバル化する世界と日本の役割	
		持続可能な社会を実現するために 【公民まとめ】	3	・持続可能な社会を実現するための解決すべき社会の課題にはどのようなものがあるか確認し、理解する。 ・社会科のまとめとして適した探究課題を設定し、様々な方法で考察する。	・レポートを作成しよう！ 「自らテーマを設定して、様々な視点から課題に対する解決策をまとめよう」	D(2)	・これまでの社会科の学習を振り返りながら、持続可能な社会の実現に向けて探究するうえで適切な探究課題を設定している。 ・設定した探究課題に適した資料を適切に収集し、レポート作成に必要な情報を選択している。		

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの構成やレポート作成の基本的な約束事に従いレポートを作成する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートが「探究課題」「課題設定の理由」「研究の方法」「考察」「参考資料」の五つで構成されることを理解し、これに基づいてレポートを作成している。</li> </ul>		
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

※歴史分野40時間 公民分野100時間で計上